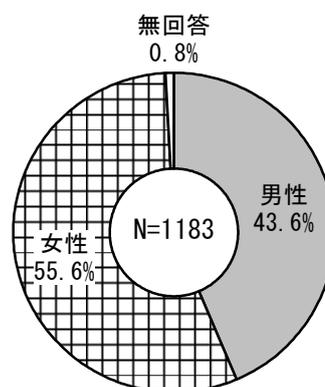


II 調査結果

1 属性

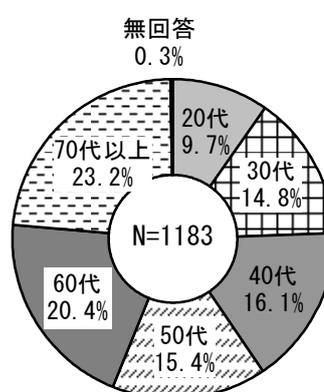
性別

性別は、「男性」(43.6%)、「女性」(55.6%)と女性が多くなっている。



年齢

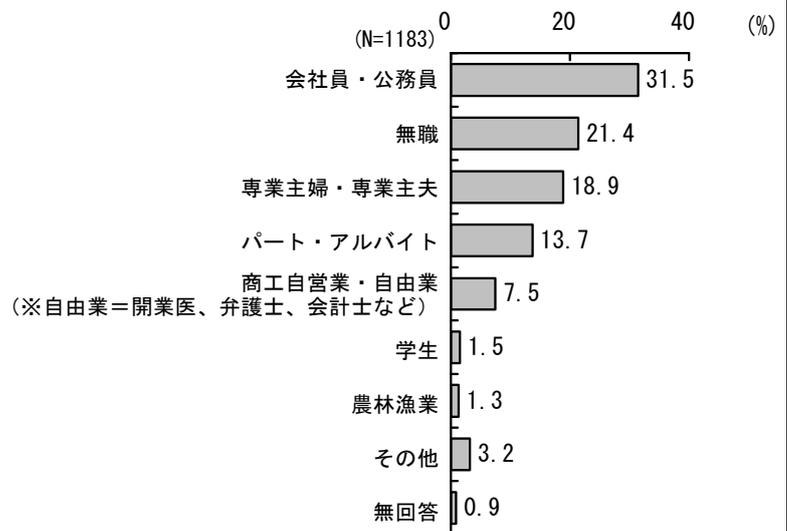
年齢は「70代以上」(23.2%)が最も多く、次いで「60代」(20.4%)、「40代」(16.1%)となっている。また、最も少なかったのは「20代」(9.7%)で唯一、1割未満となっている。



II 調査結果

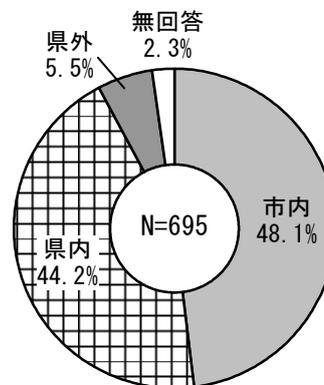
ご職業

職業は「会社員・公務員」(31.5%)が約3割を占めている。次いで「無職」(21.4%)、「専業主婦・専業主夫」(18.9%)となっている。



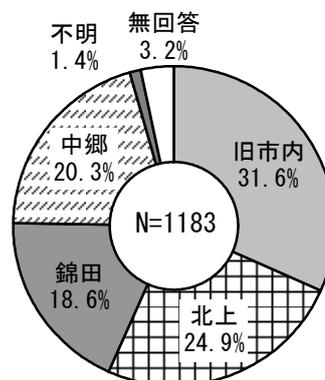
職場の所在地 ※(「無職」「専業主婦」「専業主夫」を除く)

職場の所在地は、「市内」(48.1%)が最も多く、次いで「県内」(44.2%)となっている。“三島市外”(「県内」+「県外」)へ通勤・通学している人(49.7%)は半数近くに及んでいる。



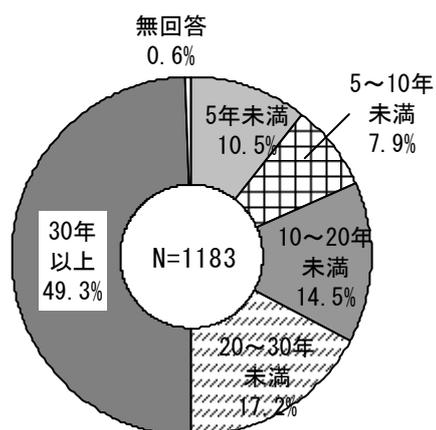
お住まいの町名

お住まいの町は「旧市内」(31.6%)が約3割を占めている。「北上」(24.9%)、「中郷」(20.3%)、「錦田」(18.6%)となっている。



三島市在住歴

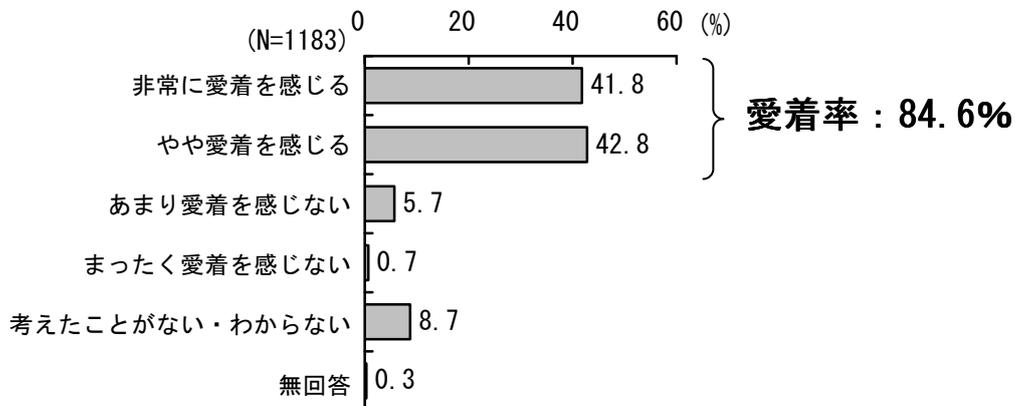
三島市在住歴は「30年以上」(49.3%)が約半数を占めている。次いで、「20～30年未満」(17.2%)、「10～20年未満」(14.5%)、「5年未満」(10.5%)、「5～10年未満」(7.9%)となっている。



II 調査結果

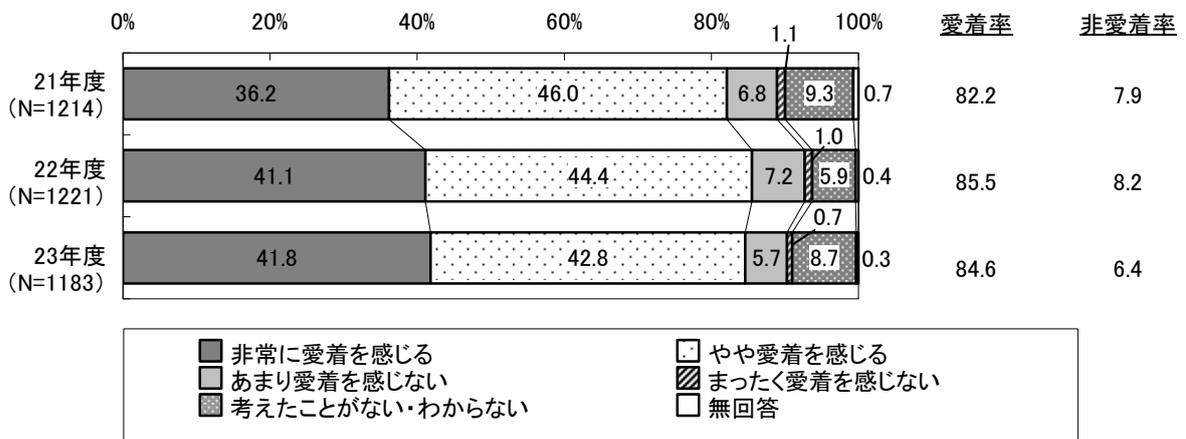
2 居住環境について

問1 あなたは、三島市に愛着を感じますか。

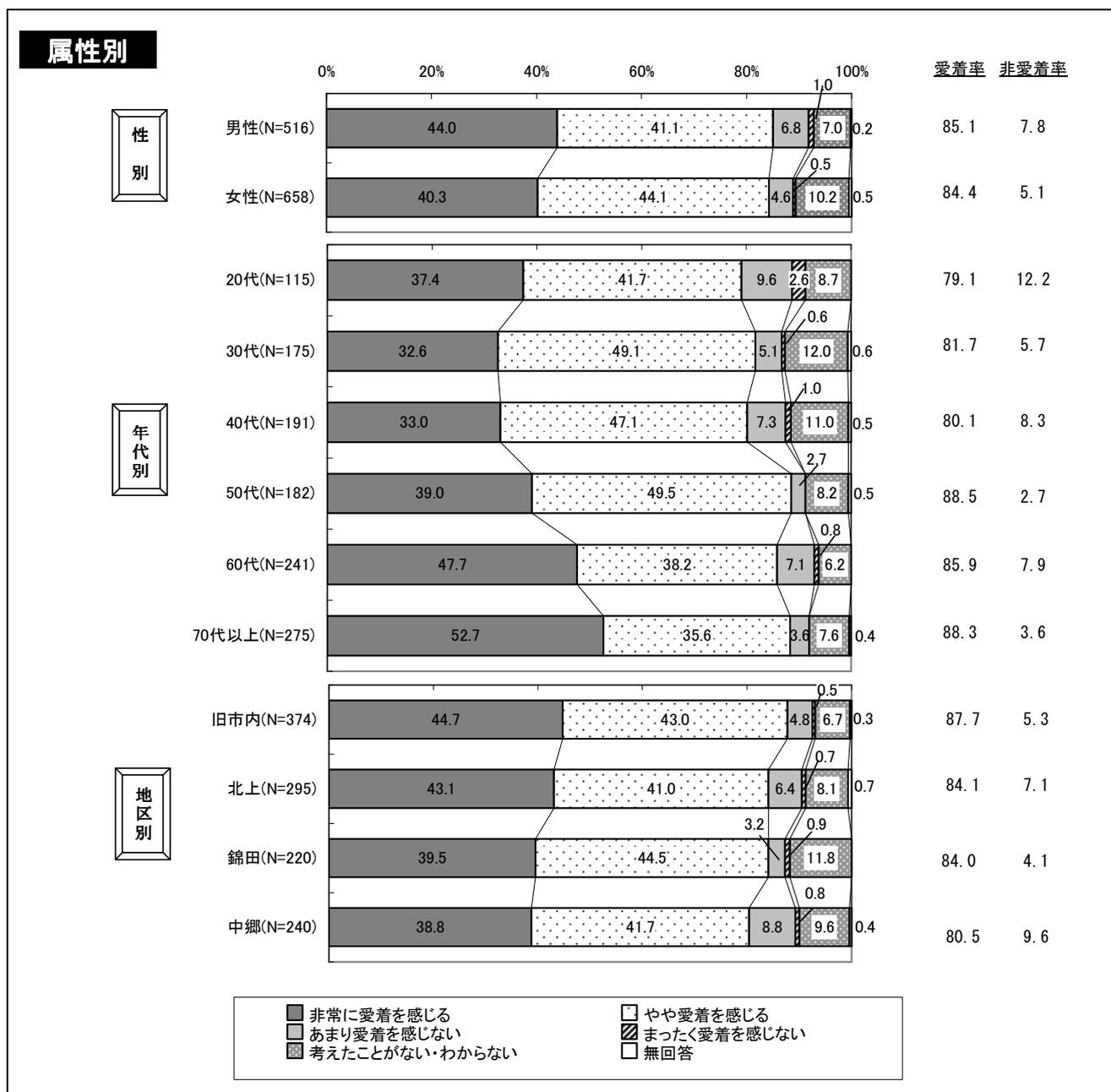


三島市に対して愛着を感じるか聞いたところ、「非常に愛着を感じる」(41.8%)と「やや愛着を感じる」(42.8%)の回答を合わせた“愛着率”は84.6%であり、「あまり愛着を感じない」(5.7%)と「まったく愛着を感じない」(0.7%)と回答した人を合わせた6.4%を大きく上回っている。

時系列比較



“愛着率”は平成21年度調査以降と同様8割以上を占めているが、前回調査(85.5%)に比べ0.9ポイント減少している。一方、“非愛着率”(6.4%)は前回調査(8.2%)から1.8ポイント減少し、21年度調査以降、最も低くなっている。



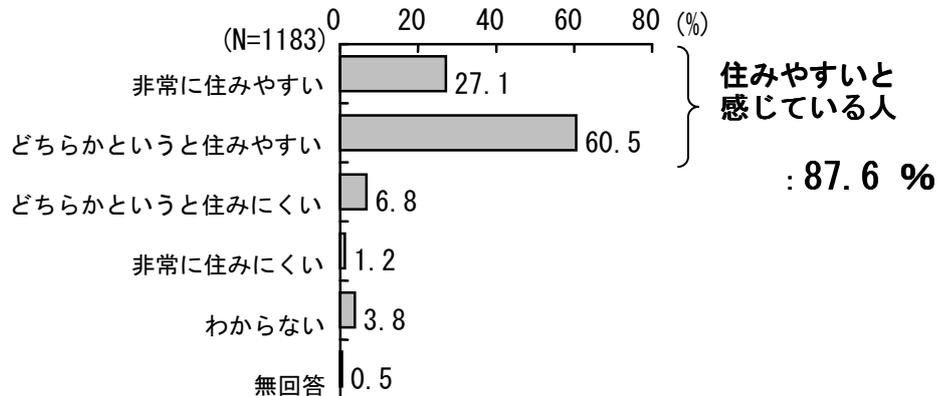
性別で見ると、“愛着率”（男性 85.1%、女性 84.4%）は大きな差は見られず、ともに全体の 8 割を超えている。

年代別で見ると、50 代（88.5%）、70 代以上（88.3%）の“愛着率”が高くなっており、30 代（81.7%）、40 代（80.1%）、60 代（85.9%）も 8 割を超えている。一方、20 代（79.1%）は 8 割に満たなかった。

地区別で見ると、旧市内（87.7%）、北上地区（84.1%）、錦田地区（84.0%）、中郷地区（80.5%）と各地区で“愛着率”は 8 割を超えている。

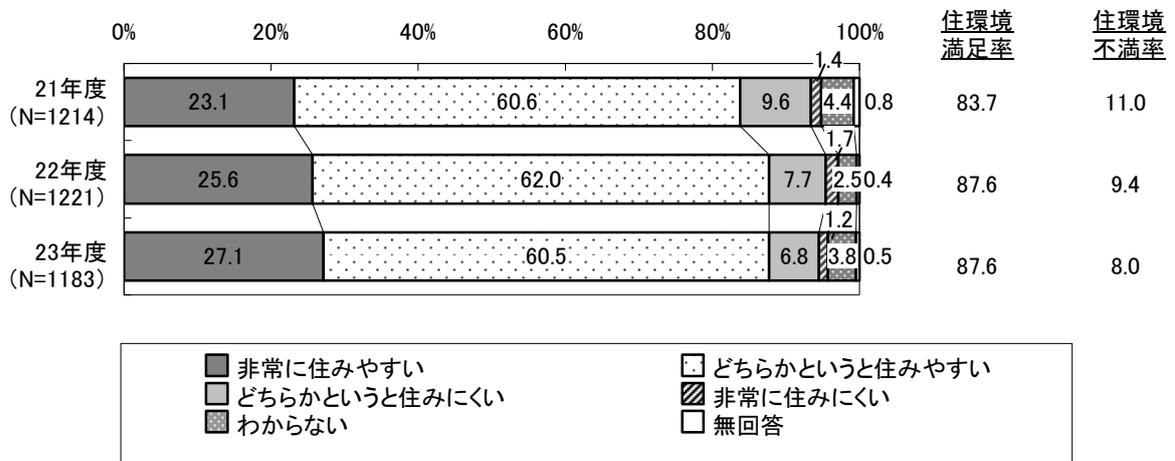
II 調査結果

問2 あなたは、三島市が住みやすいところだと思いますか。

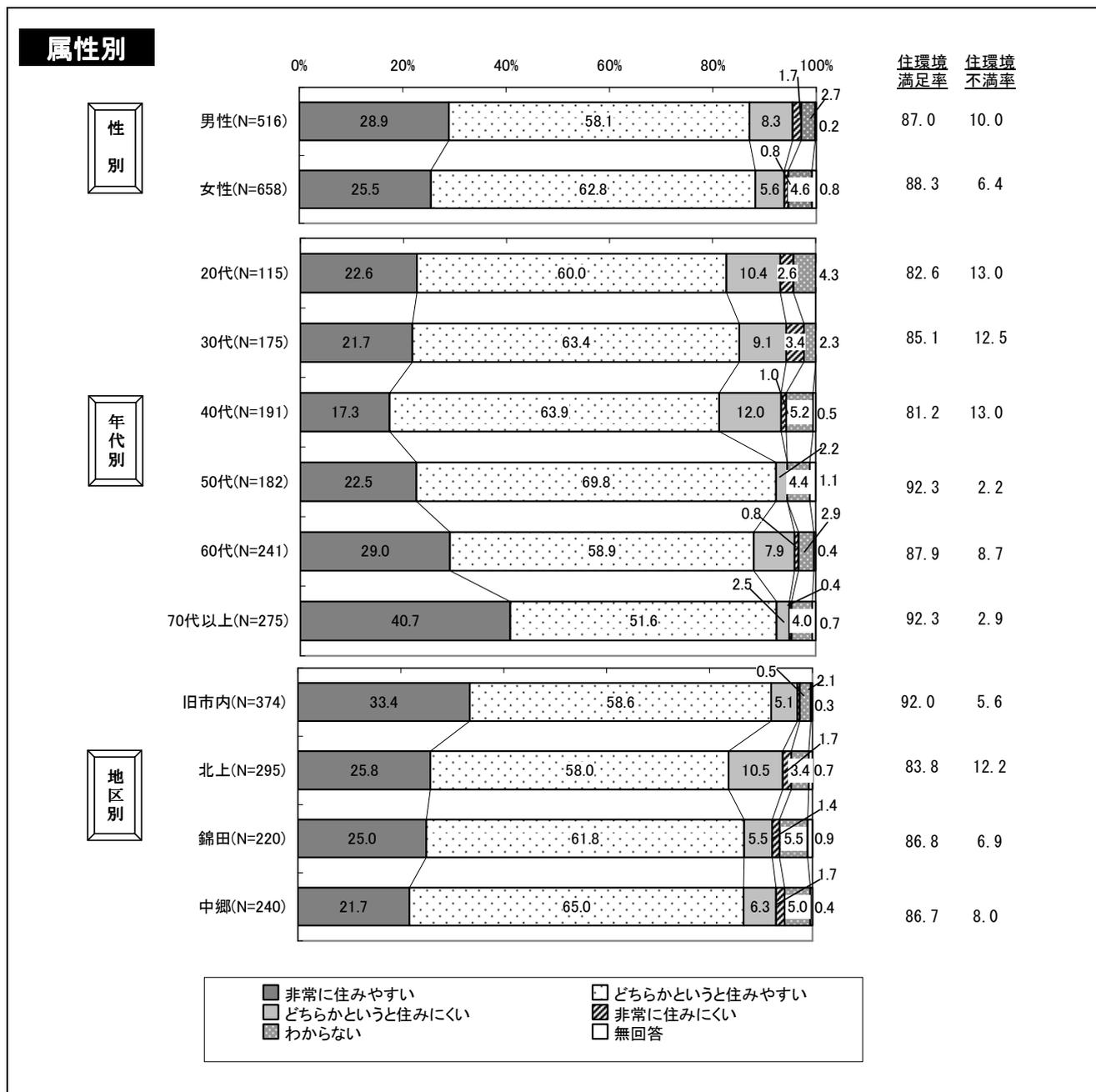


三島が住みやすいか聞いたところ、「非常に住みやすい」(27.1%)と「どちらかという住みやすい」(60.5%)を合わせた“住みやすいと感じている人”は87.6%と8割以上であり、「どちらかという住みにくい」(6.8%)と「非常に住みにくい」(1.2%)を合わせた8.0%を大きく上回っている。

時系列比較



“住環境満足率” (87.6%) は前回調査 (87.6%) と同じ8割以上になっている。“住環境不満率” (8.0%) は前回調査 (9.4%) に比べ減少し、平成21年度以降減少傾向となっている。



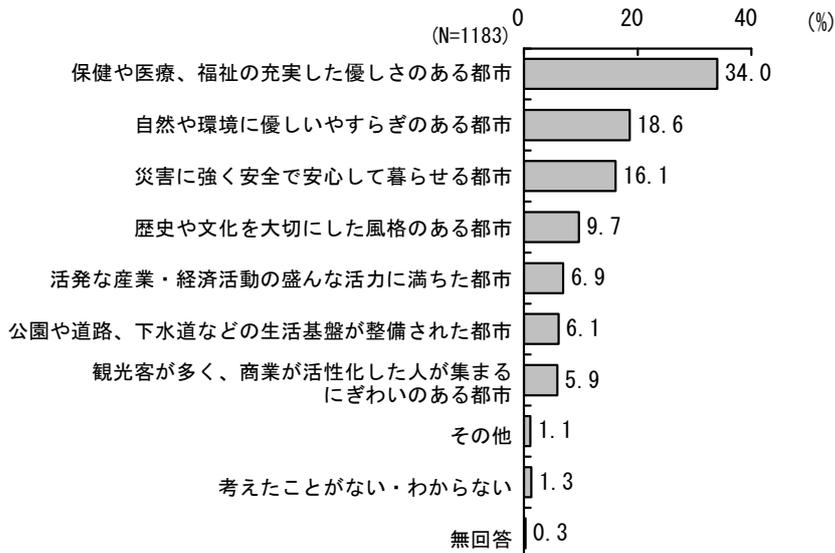
性別で見ると、女性（88.3%）、男性（87.0%）と“住環境満足率”はいずれも9割近くになっている。

年代別で見ると、50代、70代以上（いずれも92.3%）の“住環境満足率”は9割を超えている。一方、40代（81.2%）は8割と低くなっている。また、20代～40代の“住環境不満率”が約1割となっている。

地区別で見ると、旧市内地区（92.0%）が“住環境満足率”が高くなっている。他の地区も錦田地区（86.8%）、中郷地区（86.7%）、北上地区（83.8%）となり、8割以上と高くなっている。

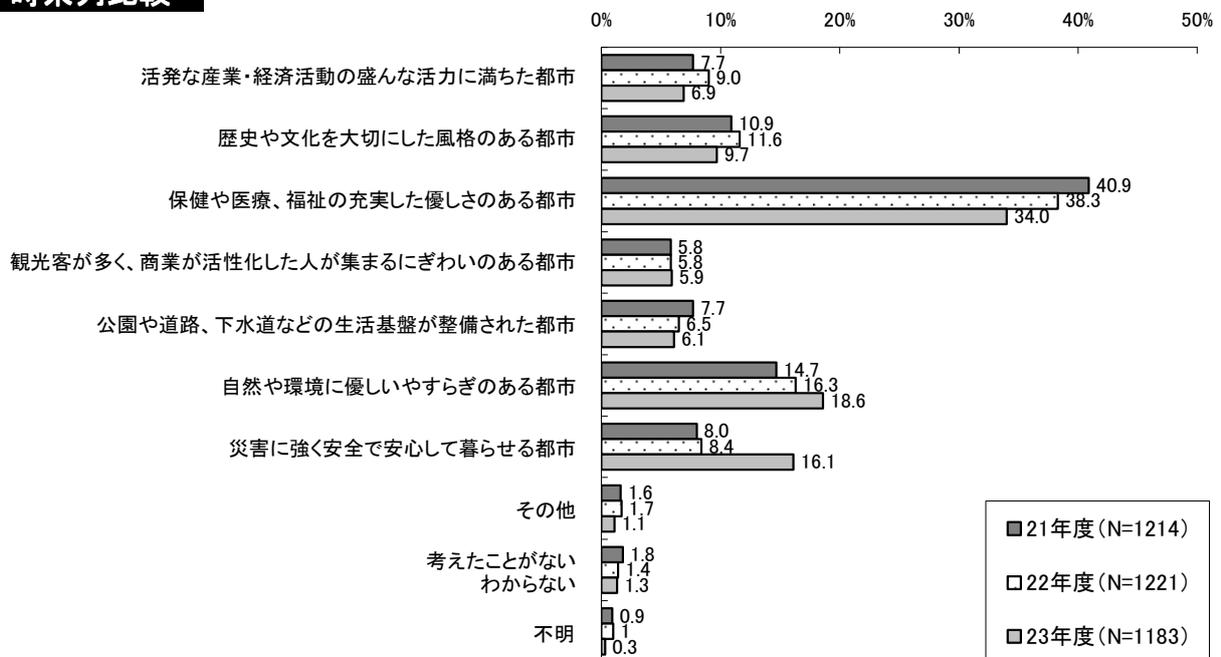
II 調査結果

問3 あなたは、三島市が将来どのような町になったらよいと思いますか。

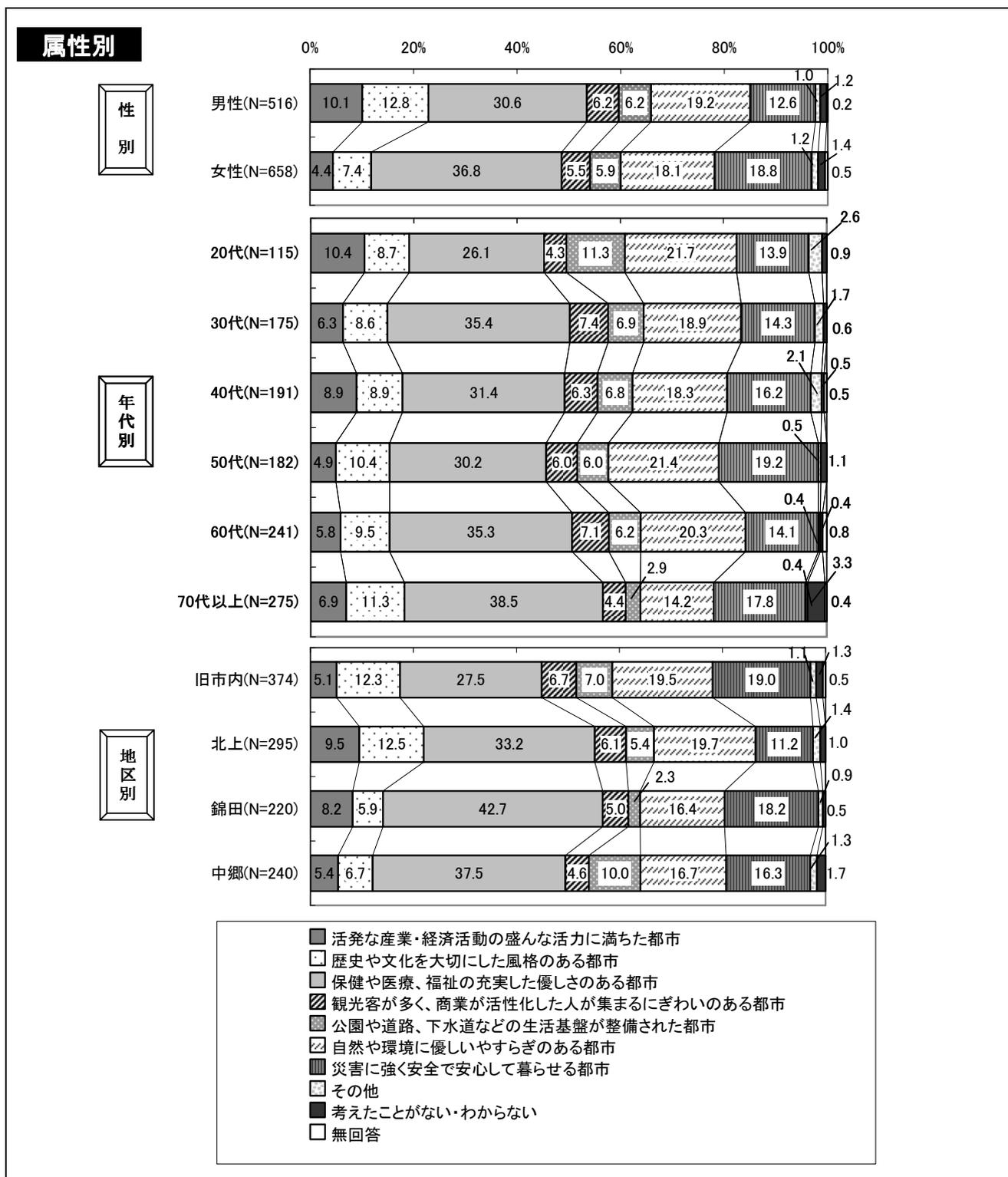


三島市の将来像について聞いたところ、最も多かったのは、「保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市」(34.0%)であり、全体の3分の1以上となっている。一方「観光客が多く、商業が活性化した人が集まるにぎわいのある都市」(5.9%)は最も少なくなっている。

時系列比較



いずれの年度も上位2項目は「保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市」、「自然や環境に優しいやすらぎのある都市」となっている。「災害に強く安全で安心して暮らせる都市」(16.1%)については、過去2年の調査に比べ大幅に増加している。



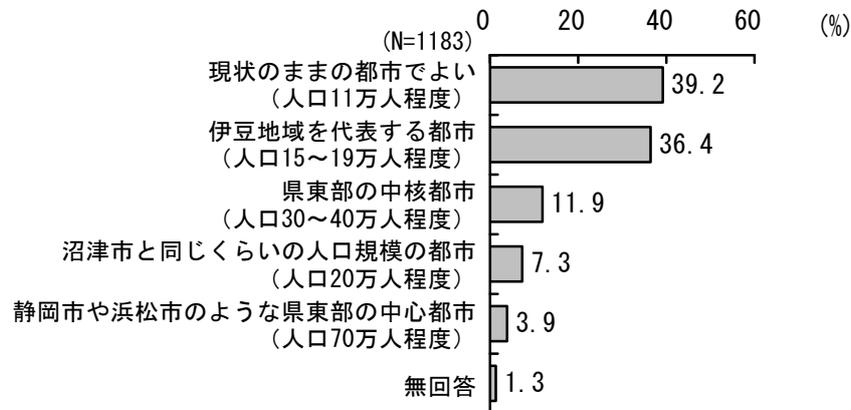
性別で見ると、男性、女性とも「保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市」が最も多くなっている。

年代別で見ると、いずれの年代でも「保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市」が多く目立っている。次いで、「自然や環境に優しいやすらぎのある都市」「災害に強く安全で安心して暮らせる都市」が多くなっている。

地区別で見ると、いずれの地区でも「保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市」が最も多くなっている。

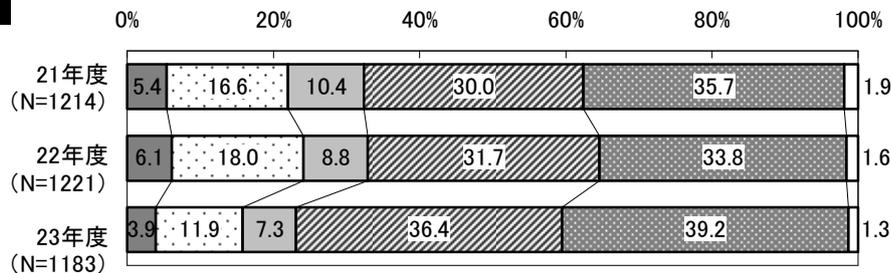
II 調査結果

問4 あなたは三島市を含むこの地域が将来どのような都市になることが望ましいとお考えですか。



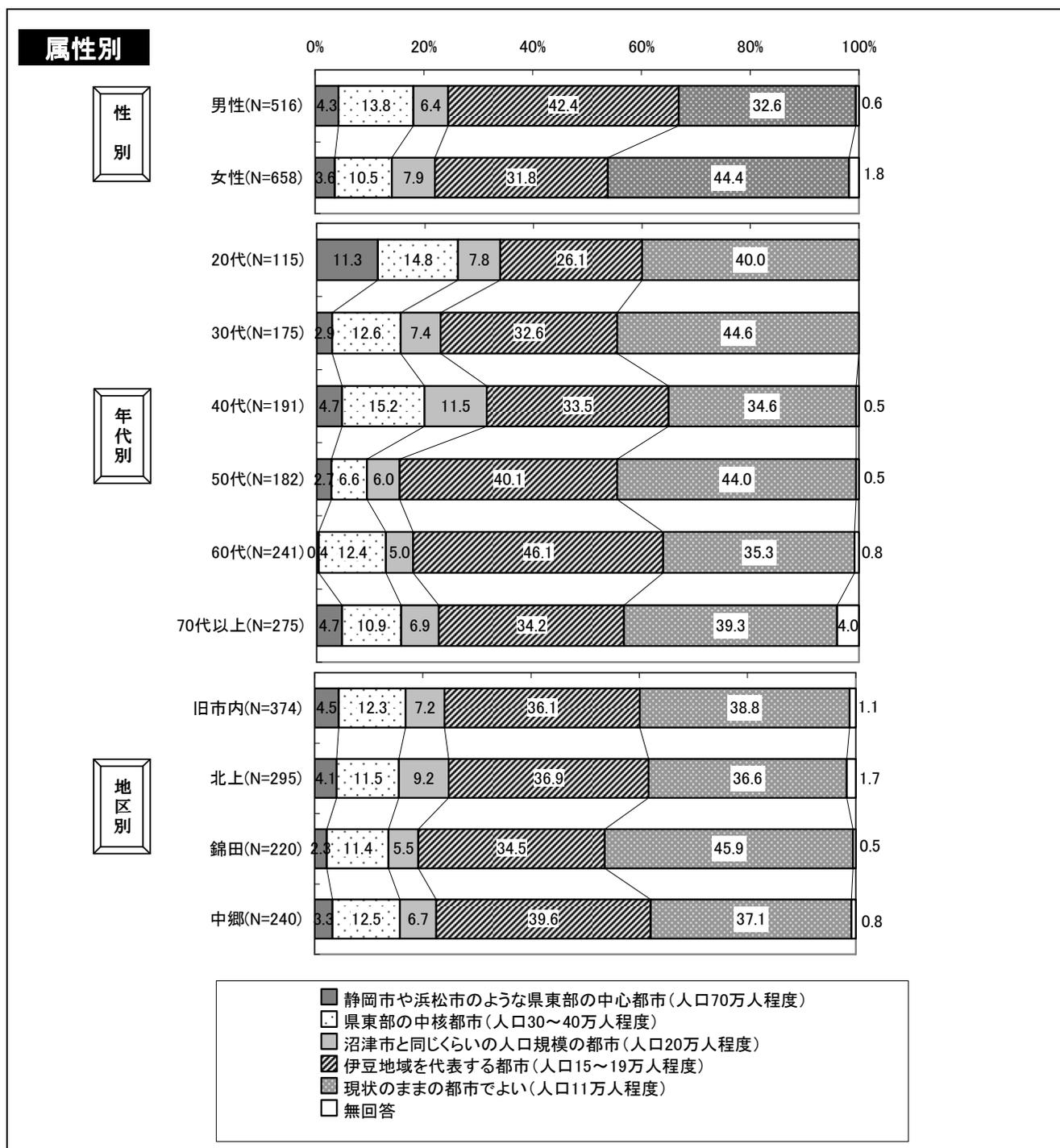
将来の都市規模について聞いたところ、「現状のままの都市でよい」(39.2%)が最も多く、「伊豆地域を代表する都市」(36.4%)と合わせると全体の7割以上を占め、将来の都市規模への希望が二分する結果となっている。人口20万人以上の都市規模を望む声は少なく、「県東部の中核都市」(11.9%)「沼津市と同じくらいの人口規模」(7.3%)「静岡市や浜松市のような県東部の中心都市」(3.9%)は合わせて2割程度にとどまっている。

時系列比較



- 静岡市や浜松市のような県東部の中心都市(人口70万人程度)
- 県東部の中核都市(人口30~40万人程度)
- 沼津市と同じくらいの人口規模の都市(人口20万人程度)
- ▨ 伊豆地域を代表する都市(人口15~19万人程度)
- 現状のままの都市でよい(人口11万人程度)
- 無回答

「伊豆地域を代表する都市」(36.4%)が前回調査(31.7%)に比べ4.7ポイント増加している。一方、「現状のままの都市でよい」(39.2%)は、過去3年間で最も高い割合となっている。



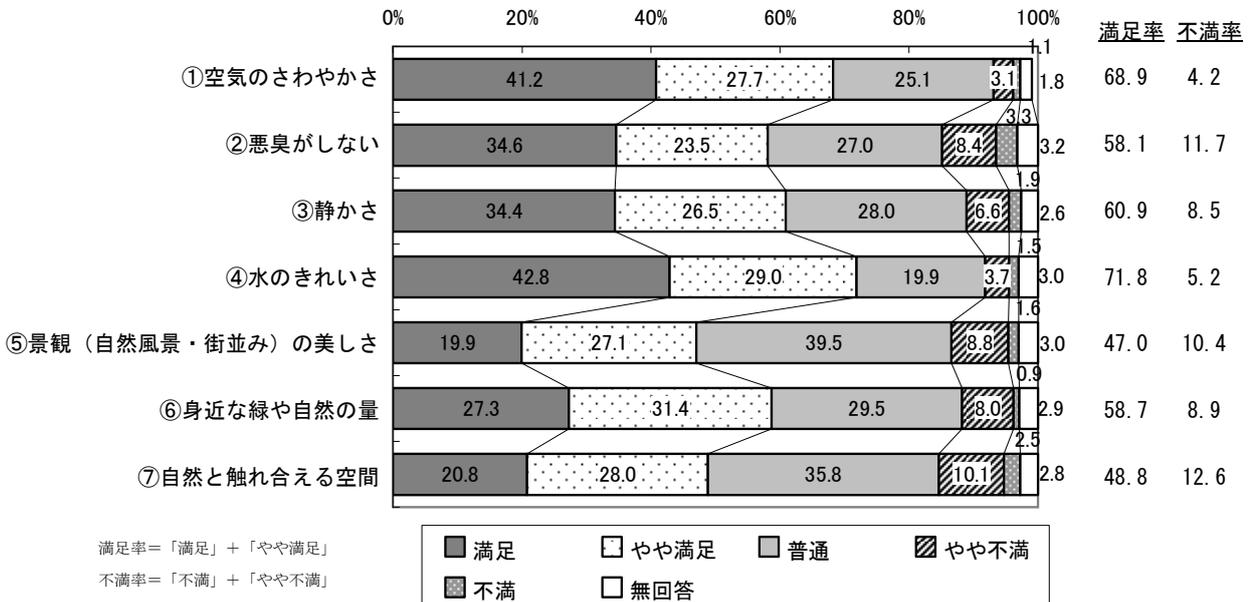
性別で見ると、男性で最も多いのは「伊豆地域を代表する都市」(42.4%)であるのに対し、女性では「現状のままの都市でよい」(44.4%)になっている。男性の方が都市規模の拡大を望む傾向が見られる。

年代別で見ると60代では「伊豆地域を代表する都市」(46.1%)が最も多くなっている。一方、他の年代では「現状のままの都市でよい」が最も多くなっている。

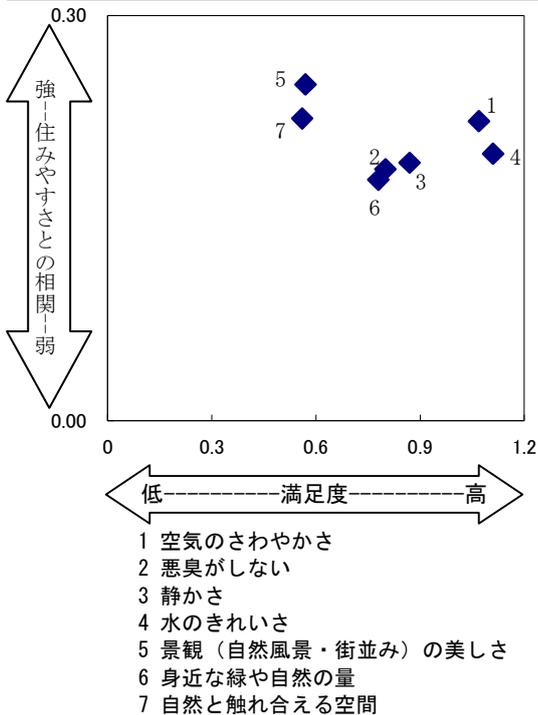
地区別で見ると北上地区と中郷地区で「伊豆地域を代表する都市」が最も多くなっている。旧市内地区と錦田地区では「現状のままの都市でよい」が最も多くなっている。

II 調査結果

問5 あなたが住む地域の生活環境の満足度についてお答えください。



地域の生活環境の満足度と住みやすさの相関関係

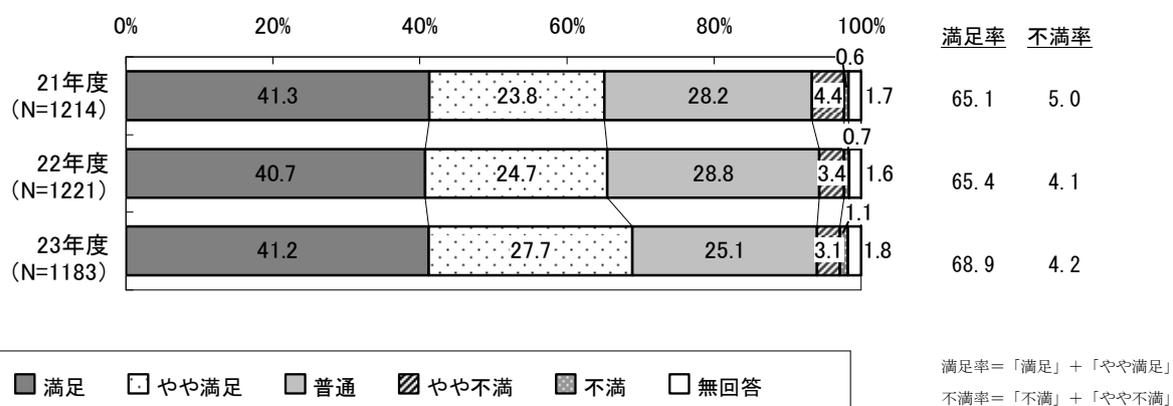


各項目の満足度得点が住みやすさとどの程度相関関係を持っているかを調べるため、相関係数を算出しました。相関係数は1に近いほど（この図では0.3に近いほど）、その項目の満足度が住みやすさに対して影響が強いことを示しています。図中、上に位置するほど、住みやすさへのプラスの影響が強い項目、右に位置するほど満足度が高い項目であり、満足度が高まることにより、住みやすさへのプラスの影響が高まる項目は左上に位置しています。

“満足率”が最も高かったのは、「水のきれいさ」（71.8%）で、次いで「空気のさわやかさ」（68.9%）、「静かさ」（60.9%）、「身近な緑や自然の量」（58.7%）、「悪臭がしない」（58.1%）となっている。また、住みやすさとの相関をみると、「景観（自然風景・街並み）の美しさ」や「自然と触れ合える空間」といった項目が住みやすさに対して影響が強く、こういった項目の満足度を高めることにより、住みやすさがアップするといえる。

①《空気のさわやかさ》

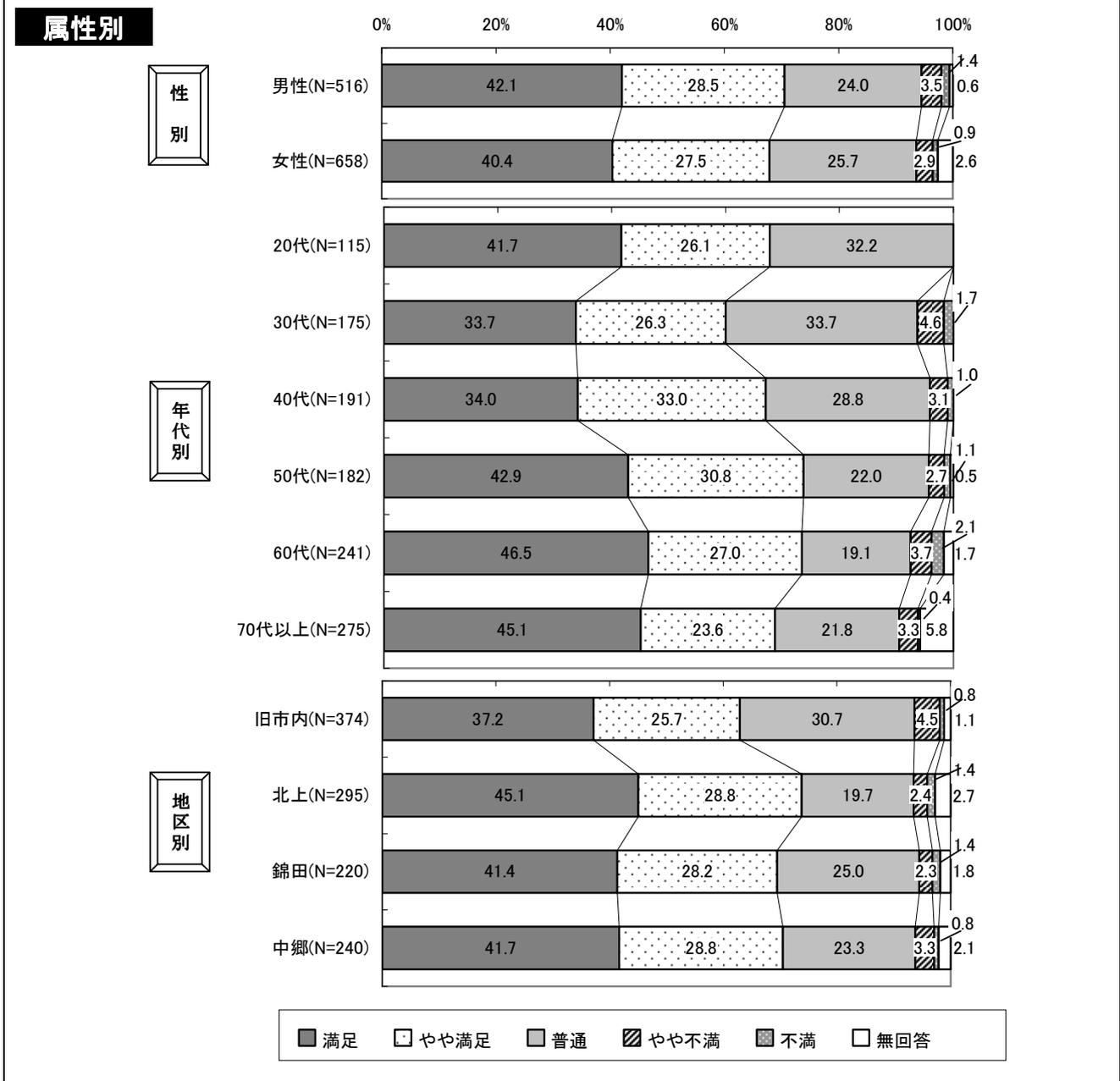
時系列比較



平成 21 年度調査以降、それぞれ大きな変化は見られず、「満足」の回答は4割台にとどまっている。また「不満」(1.1%)と感じている人は平成 21 年度調査以降最も多くなっている。

II 調査結果

①《空気のさわやかさ》



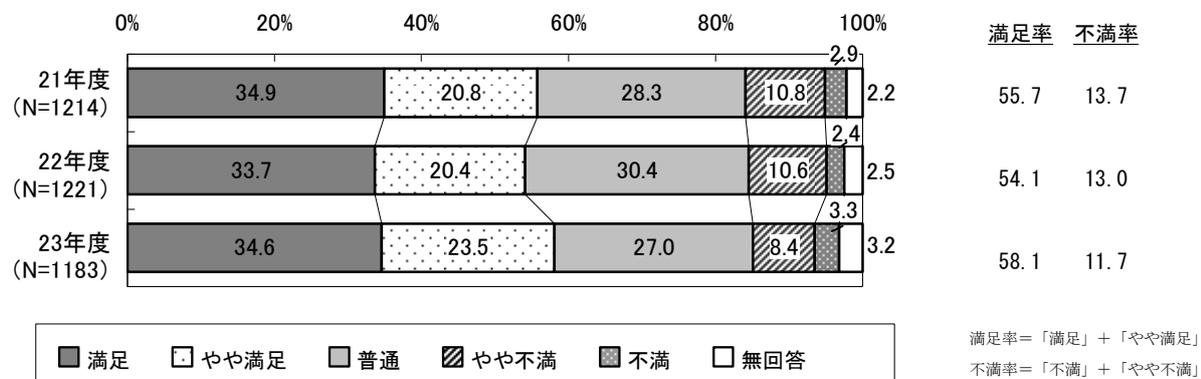
性別で見ると、「満足」（男性 42.1%、女性 40.4%）で大きな差は見られない。

年代別で見ると、50代以上の「満足」（50代 42.9%、60代 46.5%、70代以上 45.1%）の割合が高くなっている。一方、30代（33.7%）、40代（34.0%）は約3割にとどまっている。

地区別で見ると、各地区で「満足」（北上地区 45.1%、中郷地区 41.7%、錦田地区 41.4%、旧市内地区 37.2%）が4割前後となっている。

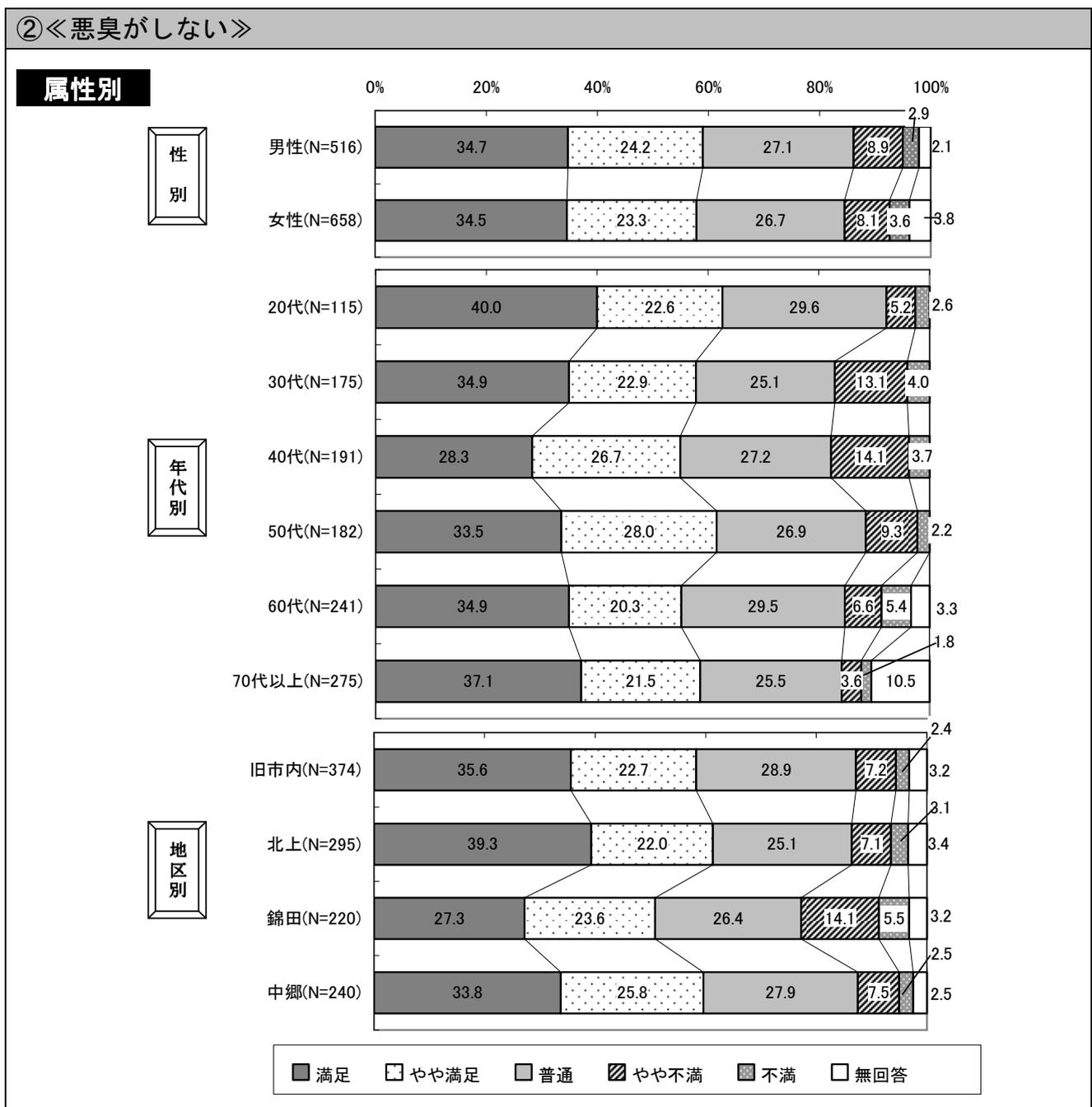
②「悪臭がしない」

時系列比較



「満足」(34.6%)は前回調査(33.7%)を0.9ポイント上回っている。また「やや不満」(8.4%)は21年調査以降、最も低い割合になっている。

II 調査結果



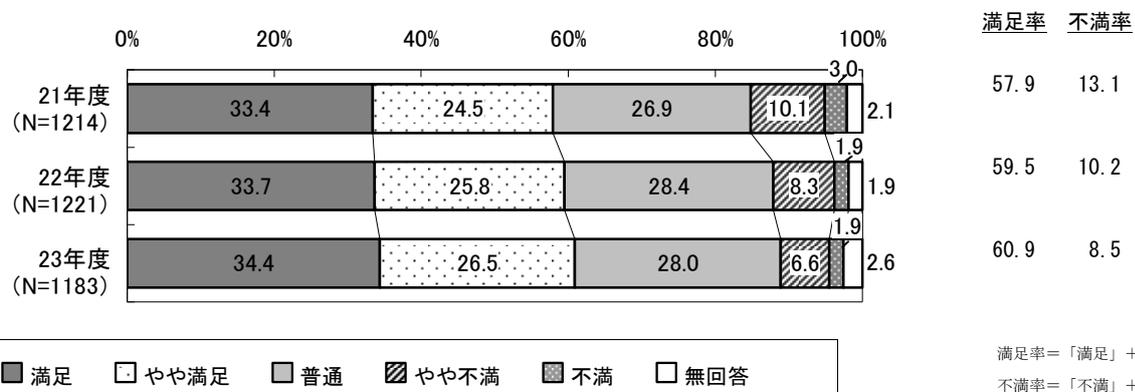
性別で見ると、「満足」(男性 34.7%、女性 34.5%)、「やや満足」(男性 24.2%、女性 23.3%) など大きな差は見られない。

年代別で見ると、各年代で「満足」が最も多くなっている。一方、30代(やや不満 13.1%、不満 4.0%)と40代(やや不満 14.1%、不満 3.7%)は他の年代に比べると多くなっている。

地区別で見ると、錦田地区以外では、「満足」が3割を超えている。また、錦田地区の「やや不満」(14.1%)は1割を超えている。

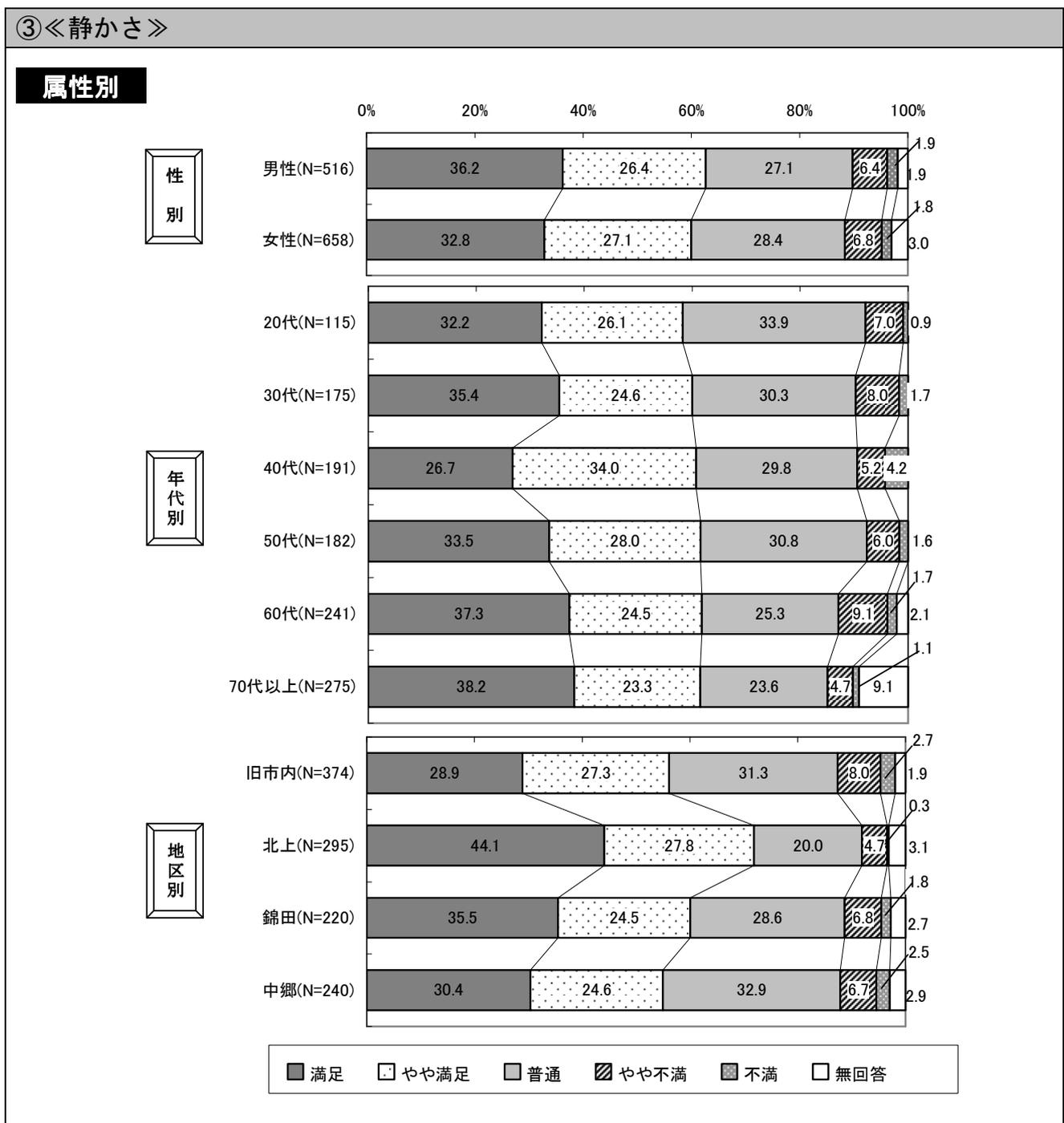
③《静かさ》

時系列比較



「満足」(34.4%)は前回調査(33.7%)を0.7ポイント上回っている。また「不満」(1.9%)は前回調査と同様1%台にとどまっている。

II 調査結果



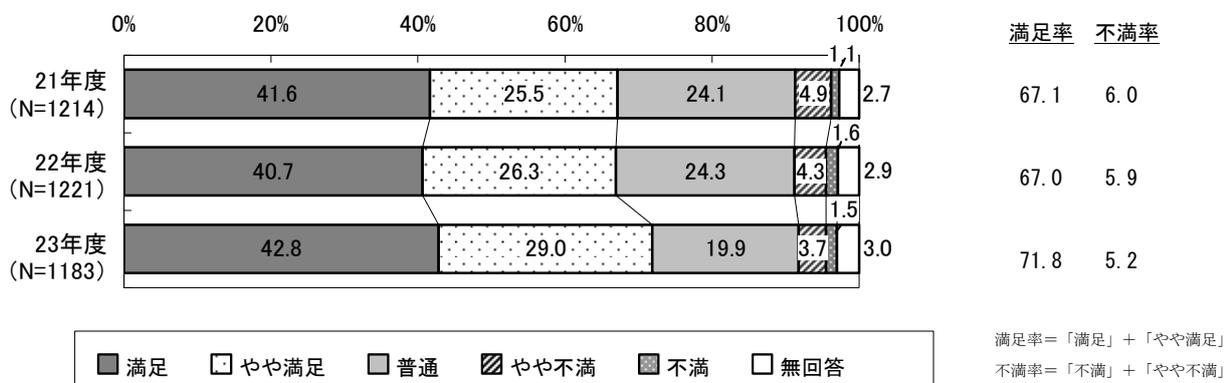
性別で見ると、「満足」(男性 36.2%、女性 32.8%)、「やや満足」(男性 26.4%、女性 27.1%)で、大きな差は見られない。

年代別で見みると、70代以上は「満足」(38.2%)が最も多くなっている。一方、3割以下だったのは、40代(26.7%)で最も少なくなっている。

地区別で見ると、北上地区は「満足」(44.1%)が最も多く、4割以上となっている。また、最も低かったのは旧市内地区(28.9%)で2割台にとどまっている。

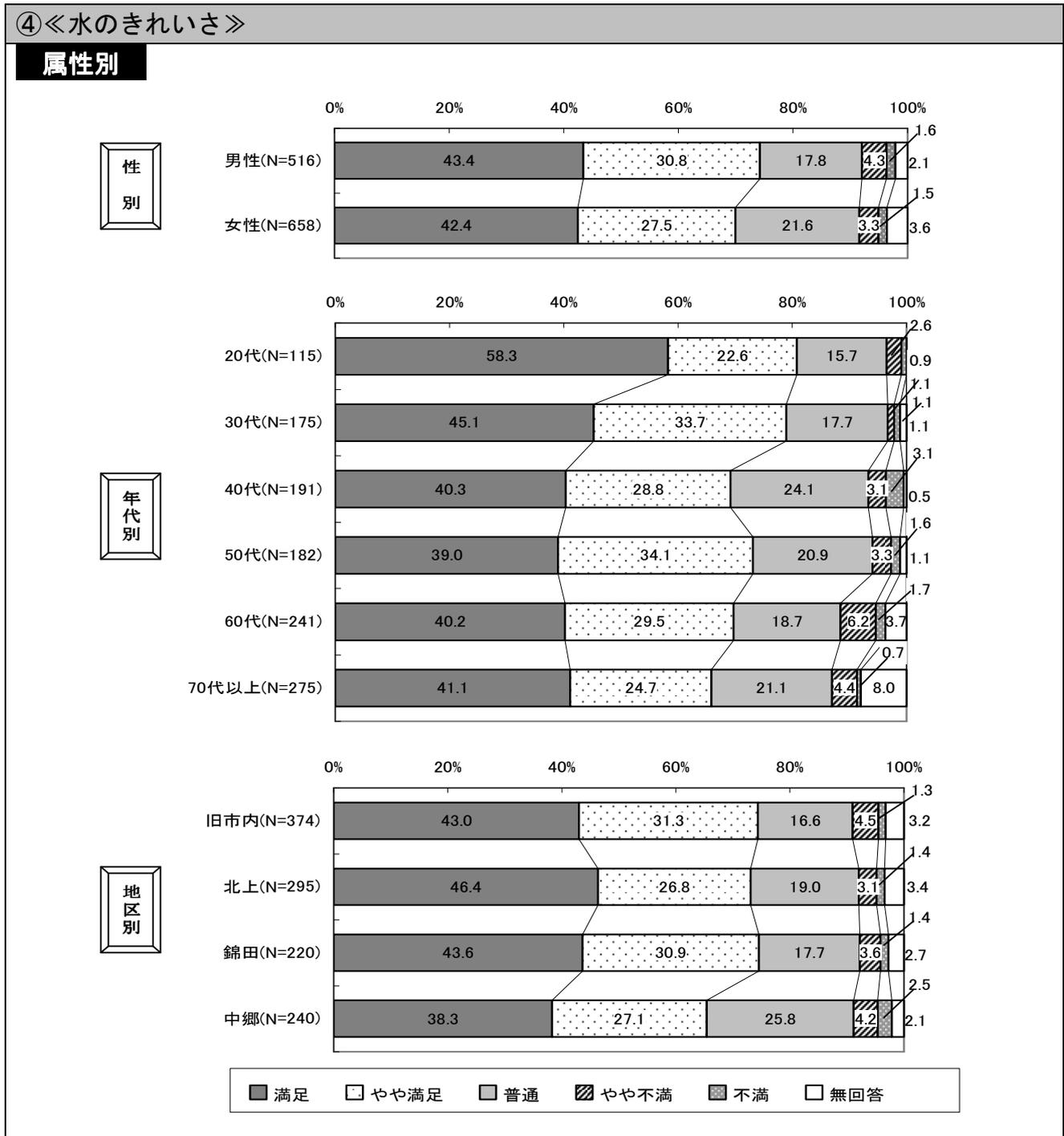
④「水のきれいさ」

時系列比較



「満足」(42.8%)は前回調査(40.7%)を2.1ポイント上回っている。「不満」(1.5%)は21年度調査以降、1%台にとどまっている。

II 調査結果



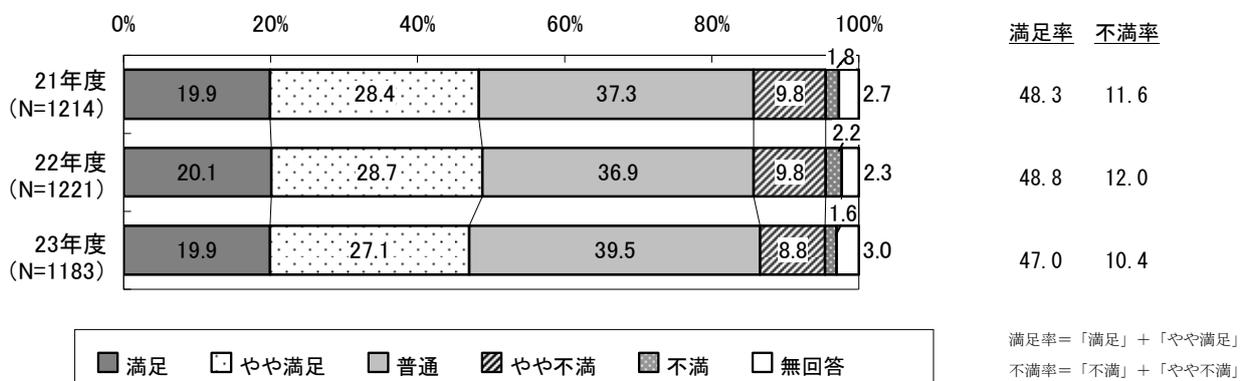
性別で見ると、男性で「満足」(43.4%)が最も多い。また女性(42.4%)も4割以上となっている。

年代別で見ると、20代は「満足」(58.3%)が5割を超えている。50代は「やや満足」(34.1%)が他の年代より多くなっている。

地区別で見ると、北上地区で「満足」(46.4%)が最も多く、錦田地区(43.6%)、旧市内地区(43.0%)でいずれも4割以上であったが、中郷地区(38.3%)は4割に満たない結果となっている。

⑤ ≪景観（自然風景・街並み）の美しさ≫

時系列比較

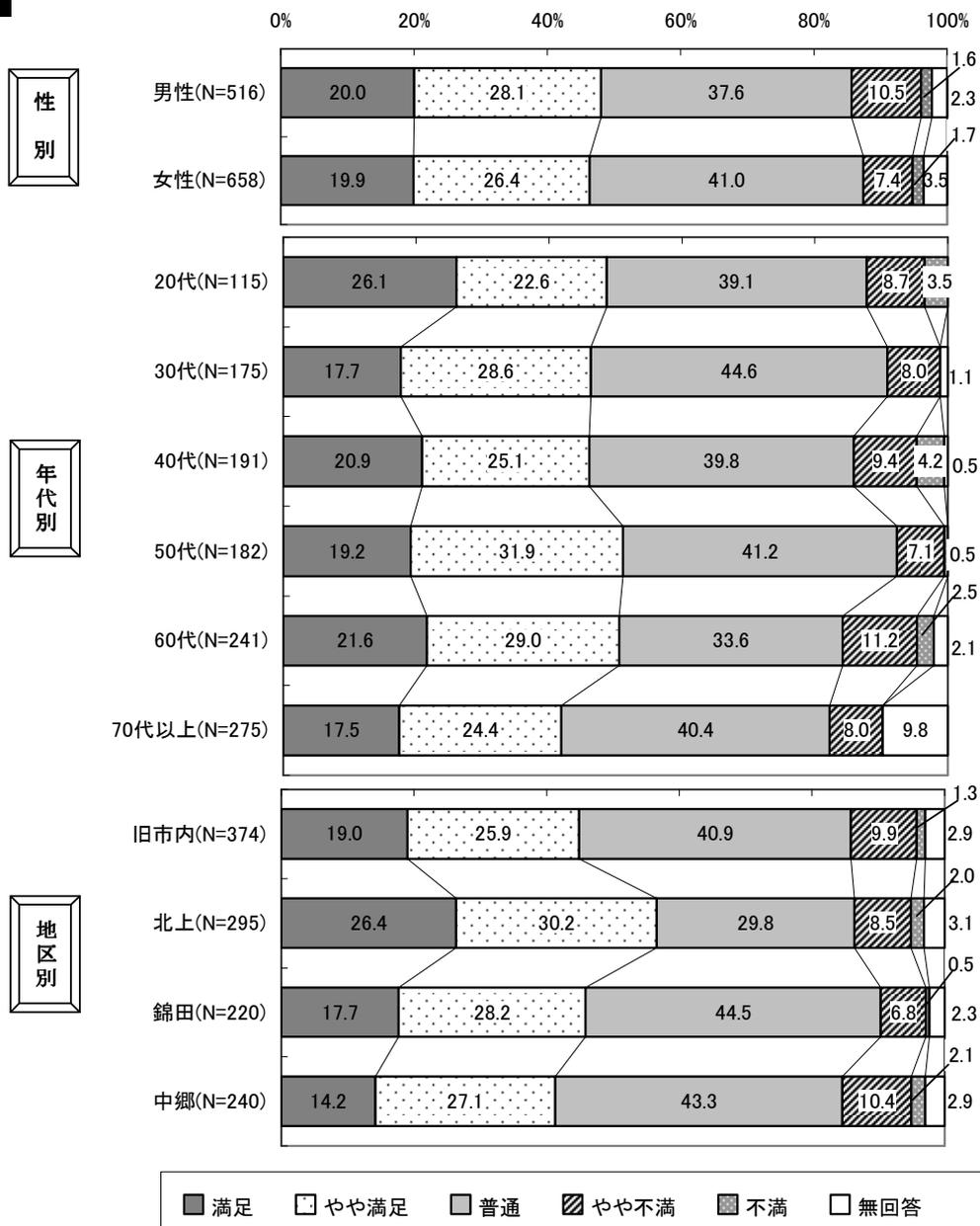


「満足」(19.9%)は前回調査(20.1%)より減少しており、21年度調査と同じ割合になっている。一方、「不満」(1.6%)は21年度調査以降、最も低い割合になっている。

II 調査結果

⑤ ≪景観（自然風景・街並み）の美しさ≫

属性別



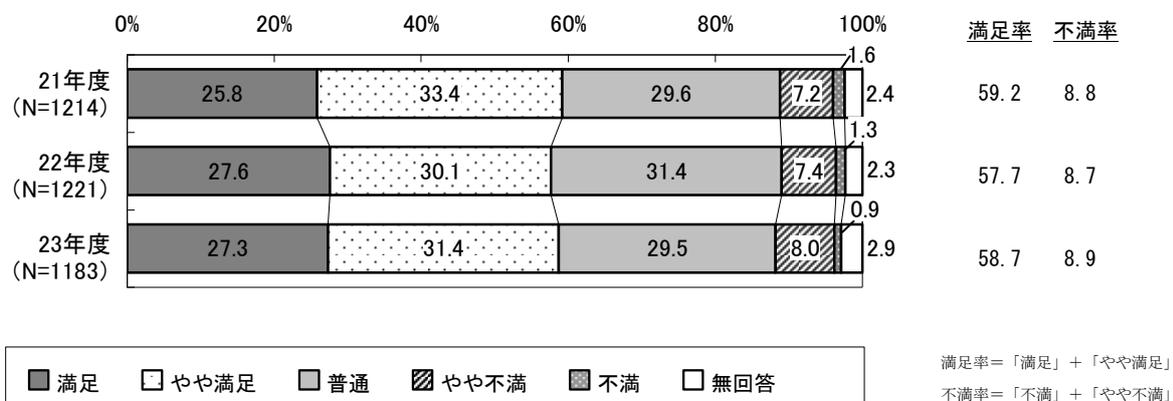
性別で見ると、「満足」（男性 20.0%、女性 19.9%）、「やや満足」（男性 28.1%、女性 26.4%）の割合は共に高いとはいえず、男女差も見られない。

年代別で見ると、30代は「普通」（44.6%）が最も多くなっている。一方、60代において「やや不満」（11.2%）が1割以上となっている。

地区別で見ると、旧市内地区、錦田地区、中郷地区では「普通」が4割台となっている。北上地区の「満足」は（26.4%）で2割を超えている。

⑥《身近な緑や自然の量》

時系列比較

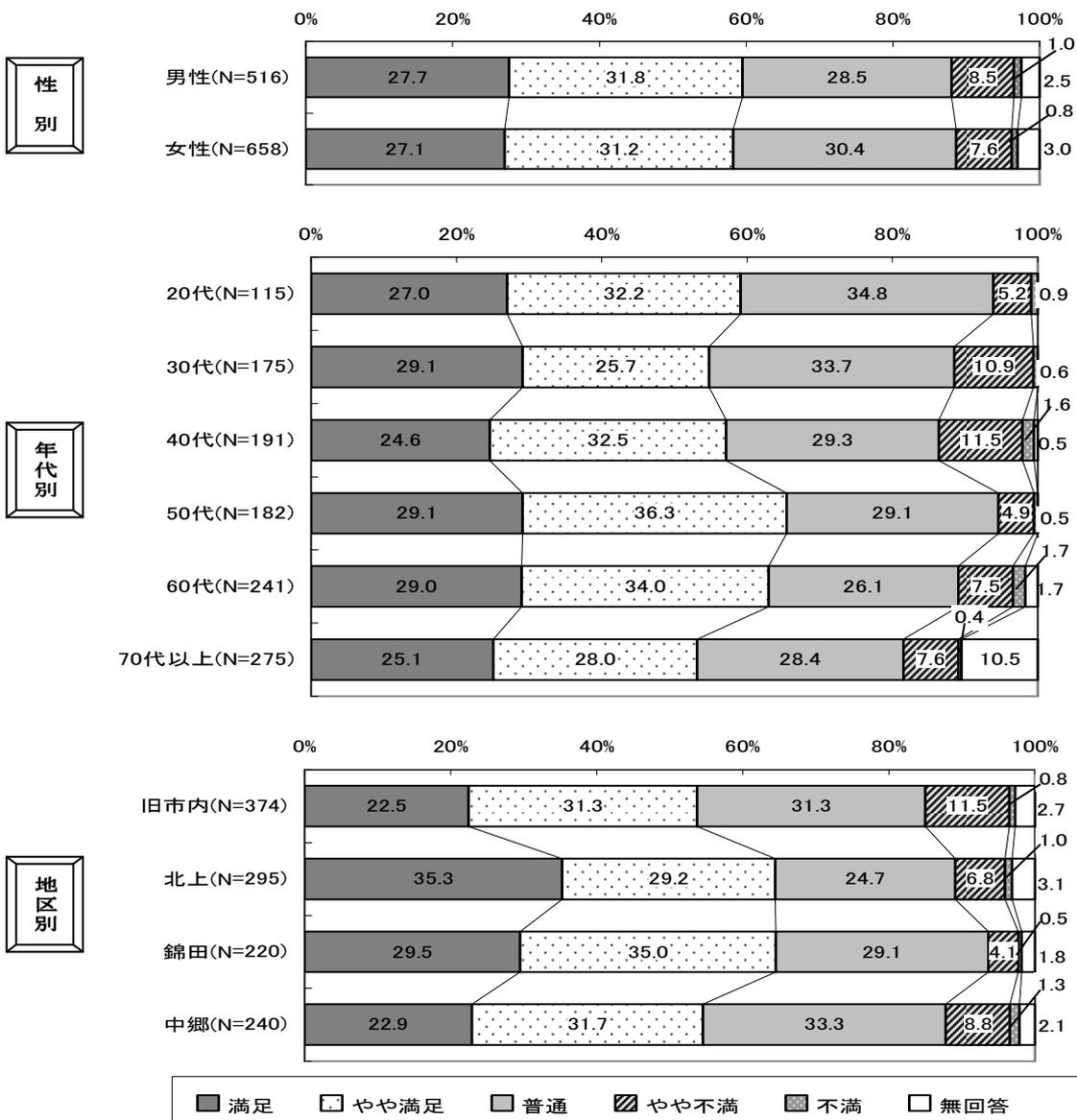


「満足」(27.3%)は21年度調査以降、2割にとどまっている。一方、「不満」(0.9%)は過去3年間で最も低い割合になっている。

II 調査結果

⑥《身近な緑や自然の量》

属性別



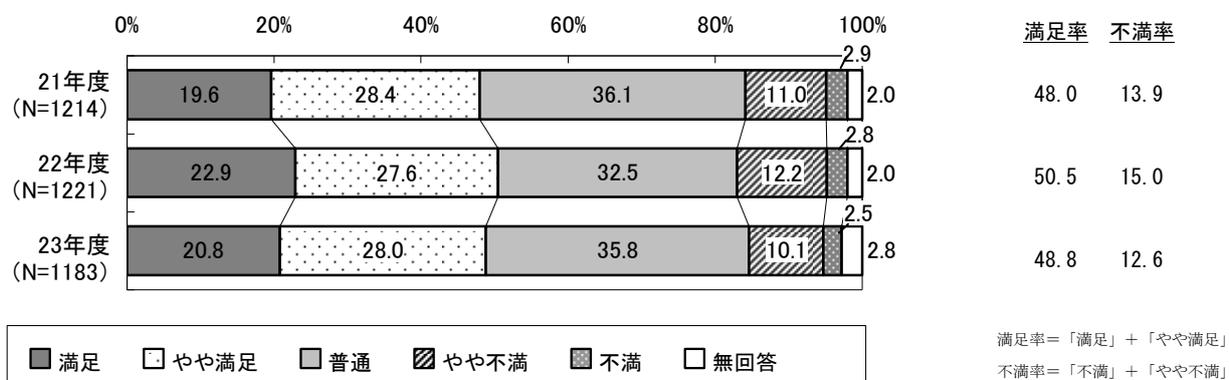
性別で見ると、「満足」(男性 27.7%、女性 27.1%)、「やや満足」(男性 31.8%、女性 31.2%) など差は見られない。

年代別で見ると、30代(29.1%)、50代(29.1%)、60代(29.0%)の「満足」と答えた人は2割台で、大きな差は見られない。また、40代の「満足」(24.6%)は他の年代より割合が若干低い傾向が見られた。

地区別で見ると、北上地区で「満足」(35.3%)が最も多くなっている。また旧市内地区では「やや不満」(11.5%)が1割を超えている。

⑦「自然と触れ合える空間」

時系列比較

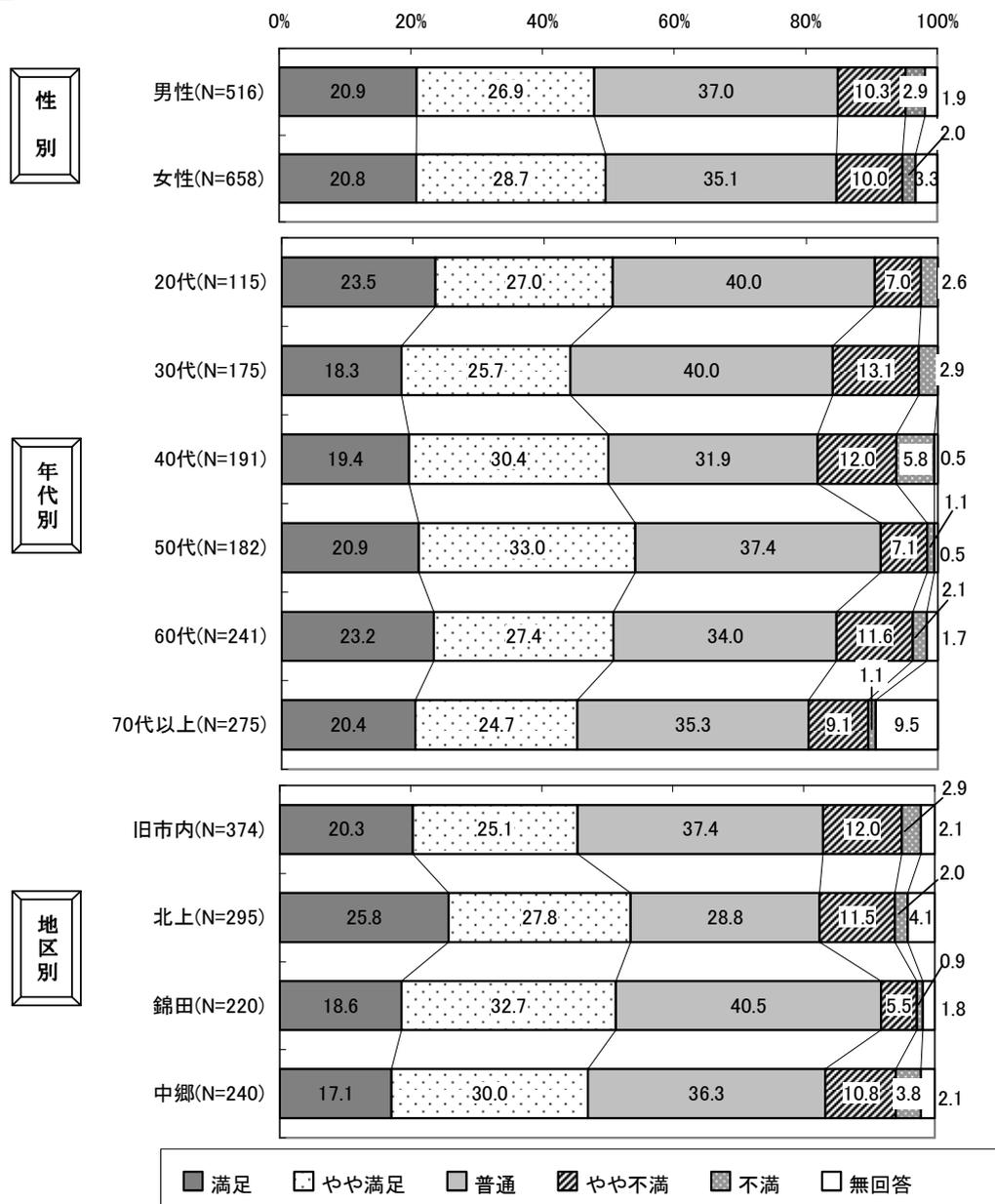


「満足」(20.8%)は前回調査(22.9%)より2.1ポイント減少している。また「不満」(2.5%)は21年度調査以降、大きな差は見られないが、最も低い割合になっている。

II 調査結果

⑦ <<自然と触れ合える空間>>

属性別



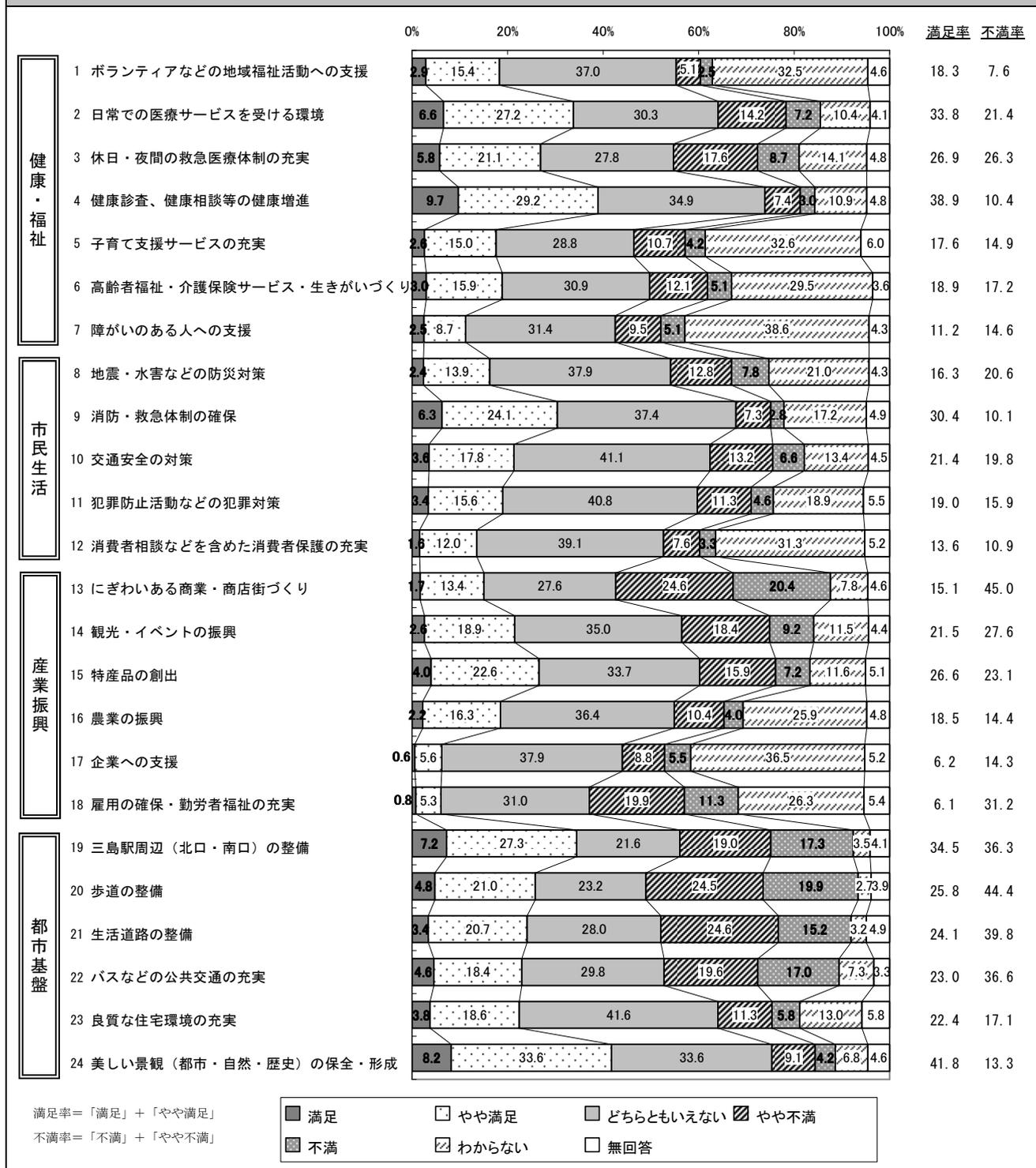
性別で見ると、「満足」(男性 20.9%、女性 20.8%)、「やや満足」(男性 26.9%、女性 28.7%)で差は見られない。

年代別で見ると、20代、30代で「普通」が最も多く共に4割となっている。30代の「満足」(18.3%)は他の年代より少ない傾向になっている。

地区別で見ると、北上地区は「満足」(25.8%)が他の地区より高く、錦田地区は「普通」(40.5%)が4割を超えている。

3 市の取組の満足度について

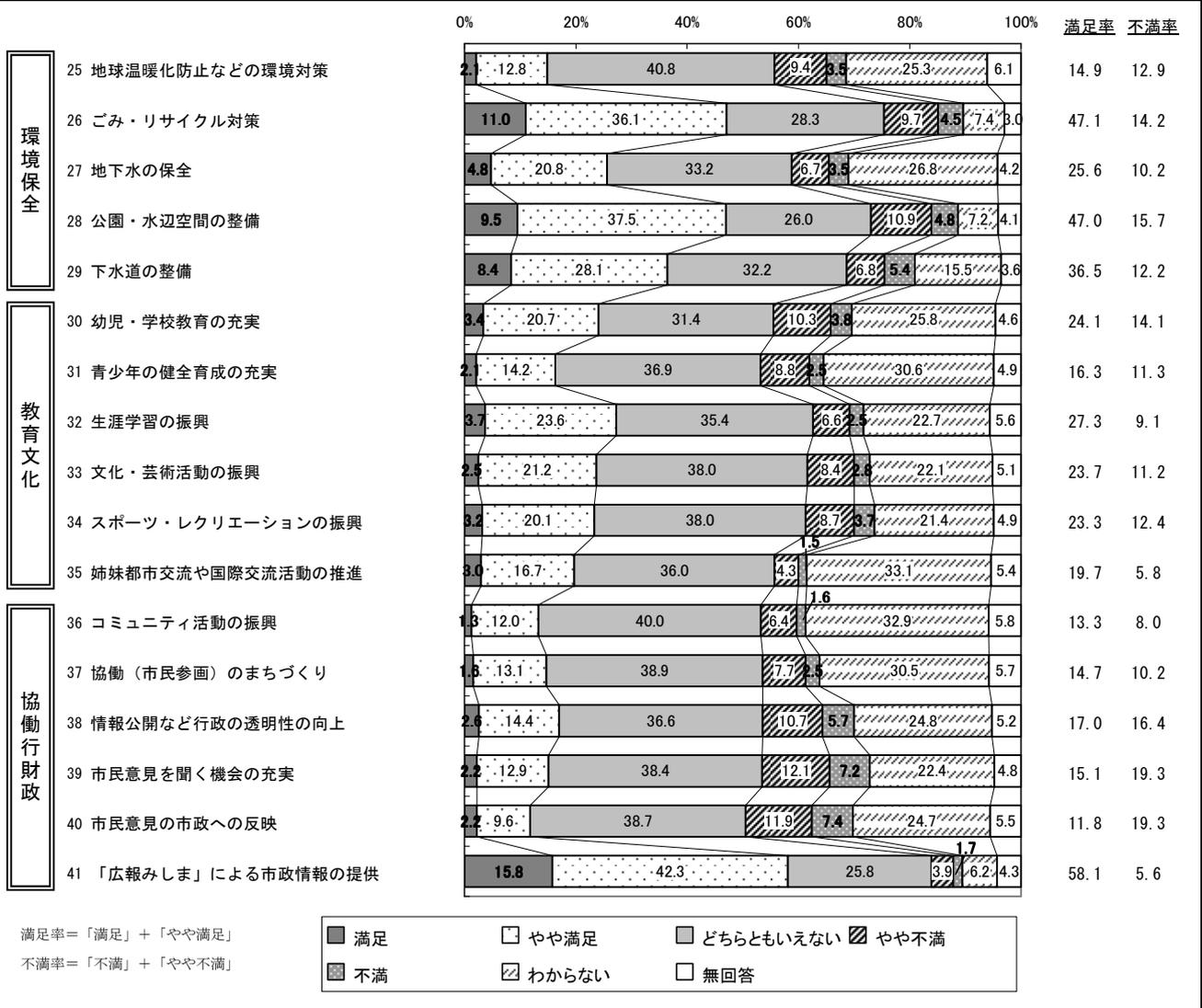
問6 毎日の暮らしを通じて、市が行っている施策に対する満足度（充実度）についてお答えください。（1～24）



満足率を見ると、『健康・福祉』では「4 健康診査、健康相談等の健康増進」(38.9%)、『市民生活』では「9 消防・救急体制の確保」(30.4%)、『産業振興』では「15 特産品の創出」(26.6%)、『都市基盤』では「24 美しい景観（都市・自然・歴史）の保全・形成」(41.8%)が最も多くなっている。

II 調査結果

問6 毎日の暮らしを通じて、市が行っている施策に対する満足度（充実度）についてお答えください。(25~41)



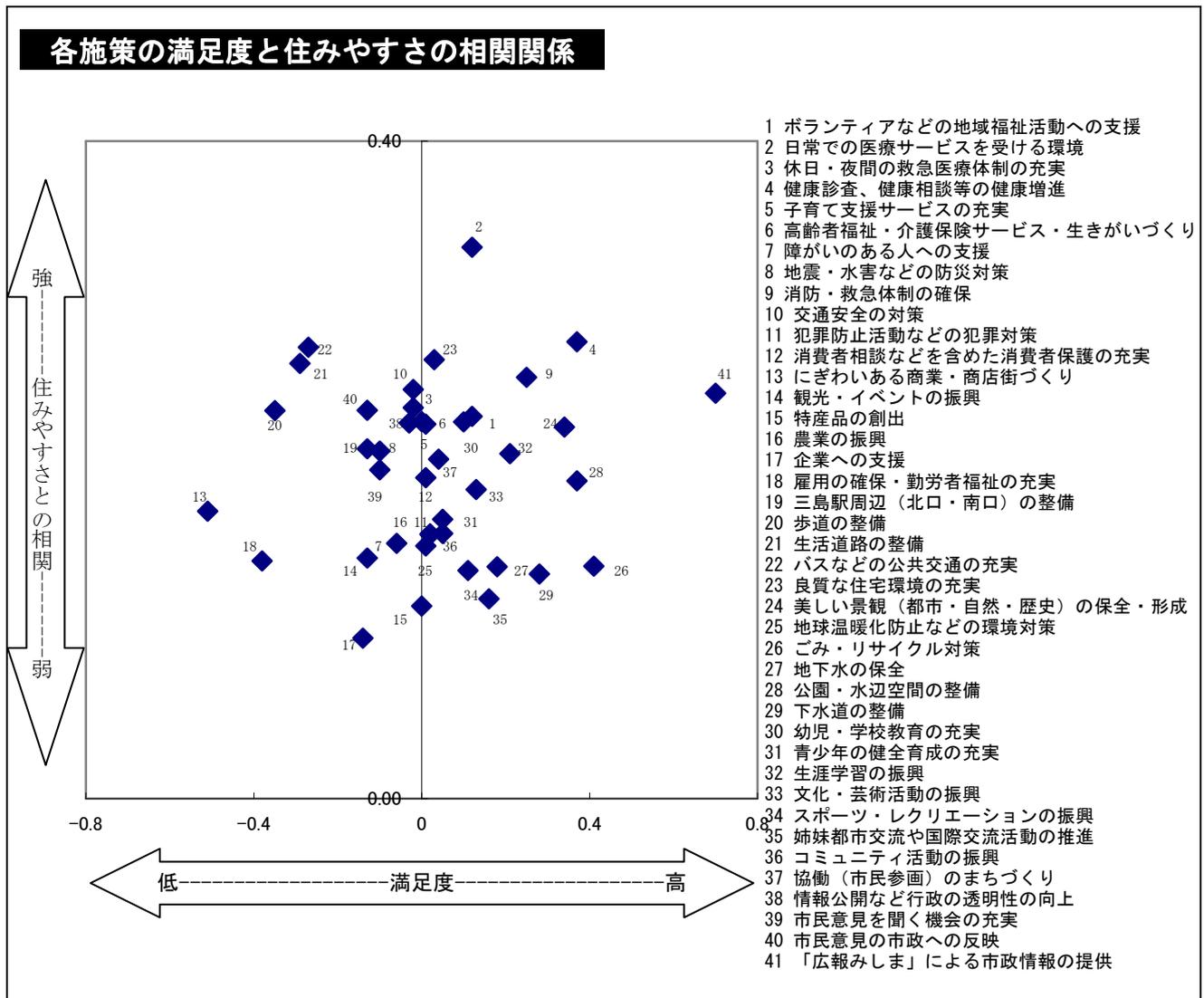
満足率を見ると、『環境保全』では「26 ごみ・リサイクル対策」(47.1%)、『教育文化』では「32 生涯学習の振興」(27.3%)、『協働行財政』では「41 「広報みしま」による市政情報の提供」(58.1%) が最も多くなっている。

| 満足率上位 | 順位 | 項目 | 分類 | 満足率 |
|-------|-----|------------------------------|-------|-------|
| | 第1位 | 41 「広報みしま」による市政情報の提供 | 協働行財政 | 58.1% |
| | 第2位 | 26 ごみ・リサイクル対策 | 環境保全 | 47.1% |
| | 第3位 | 28 公園・水辺空間の整備 | 環境保全 | 47.0% |
| | 第4位 | 24 美しい景観（都市・自然・歴史）の 保全・形成 | 環境保全 | 41.8% |
| | 第5位 | 4 健康診査、健康相談等の健康増進 | 健康・福祉 | 38.9% |

| 不満率上位 | 順位 | 項目 | 分類 | 不満率 |
|-------|-----|--------------------|------|-------|
| | 第1位 | 13 にぎわいある商業・商店街づくり | 産業振興 | 45.0% |
| | 第2位 | 20 歩道の整備 | 都市基盤 | 44.4% |
| | 第3位 | 21 生活道路の整備 | 都市基盤 | 39.8% |
| | 第4位 | 22 バスなどの公共交通の充実 | 都市基盤 | 36.6% |
| | 第5位 | 19 三島駅周辺（北口・南口）の整備 | 都市基盤 | 36.3% |

満足率上位は『協働行財政』の「41 「広報みしま」による市政情報の提供」（58.1%）が半数を超え1位。2、3位が『環境保全』の項目となっている。不満率上位は『産業振興』が1項目、『都市基盤』は2項目が入っている。

II 調査結果

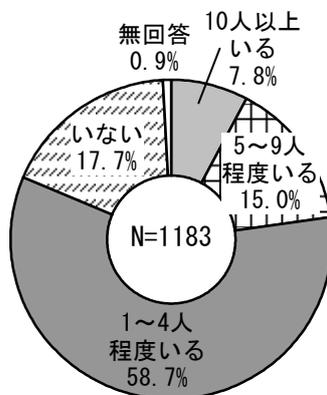


住みやすさとの相関をみると、「2 日常での医療サービスを受ける環境」や「4 健康診査、健康相談等の健康増進」といった施策が住みやすさに対して影響が強いといえる。また、「20 歩道の整備」、「21 生活道路の整備」、「22 バスなどの公共交通の充実」と満足度が低めである施策も相関関係が強いため、こういった項目の満足度を高めることにより、住みやすさがアップするといえる。

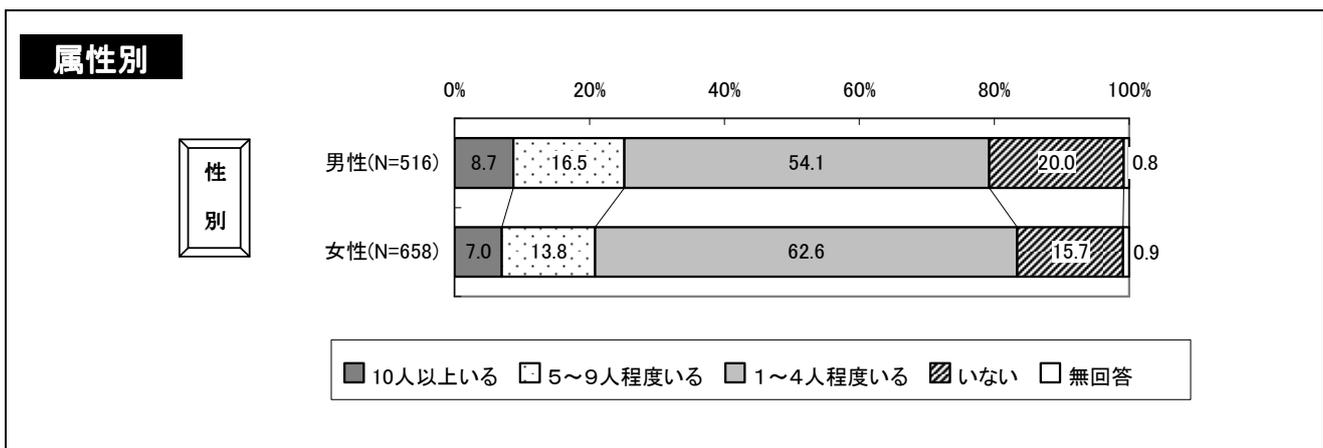
各項目の満足度得点が住みやすさとの程度相関関係を持っているかを調べるため、相関係数を算出しました。相関係数は1に近いほど（この図では0.4に近いほど）、その項目の満足度が住みやすさに対して影響が強いことを示しています。図中、上に位置するほど、住みやすさへのプラスの影響が強い項目、右に位置するほど満足度が高い項目であり、満足度が高まることにより、住みやすさへのプラスの影響が高まる項目は左上に位置しています。

4 総合計画の指標に関する項目について

問7 困った時に助け合うことができる人が近所にいますか。

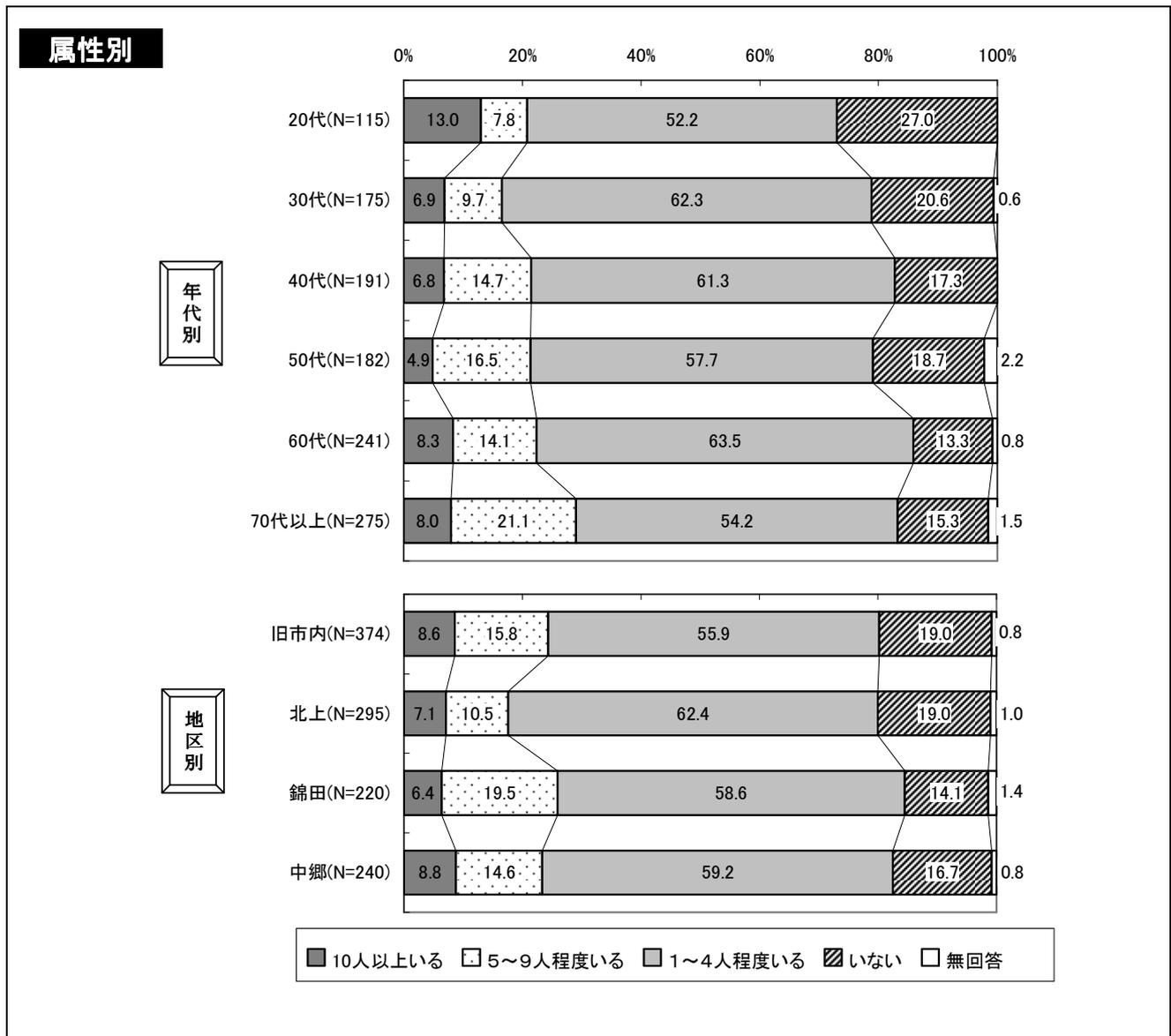


「1～4人程度いる」(58.7%)が最も多く、全体の5割以上を占めている。最も少ないのは「10人以上いる」(7.8%)で唯一1割未満となっている。



性別で見ると、女性は「1～4人程度いる」(62.6%)が最も多く6割以上となっている。男性は「1～4人程度いる」(54.1%)でこちらも半数以上と高くなっている。また、「10人以上いる」(男性8.7%、女性7.0%)は、共に1割未満となっている。

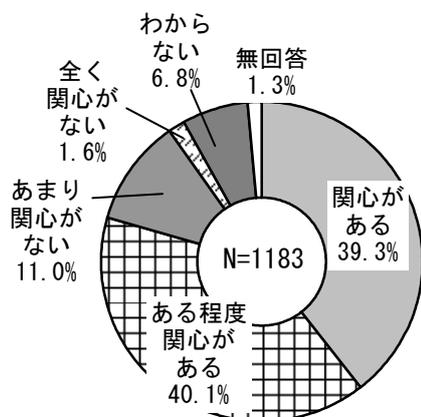
II 調査結果



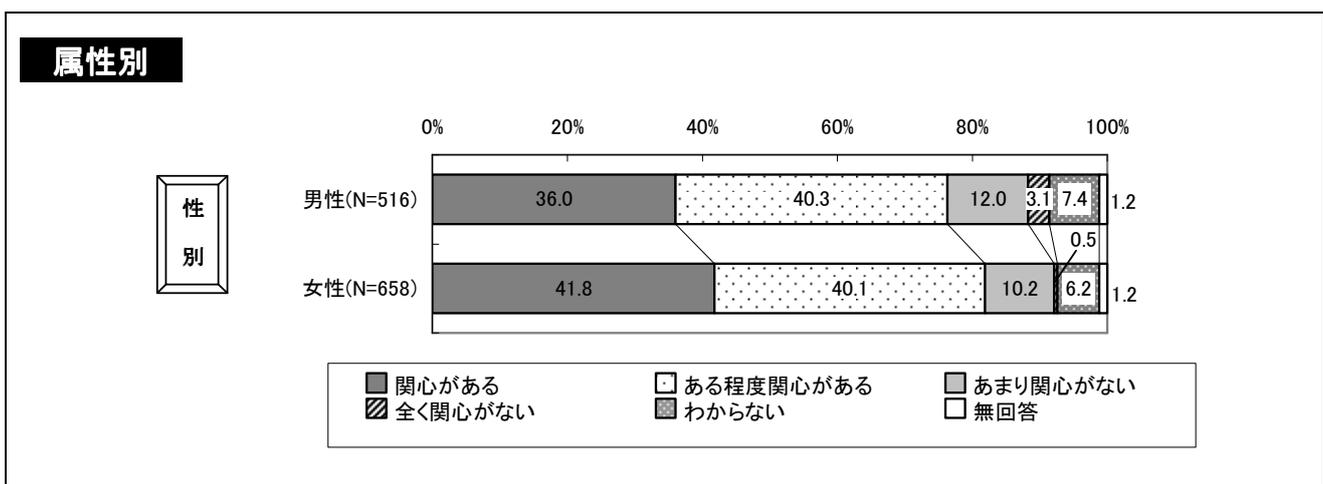
年代別で見ると、30代、40代、60代は「1~4人程度いる」が6割以上を占めている。一方、20代は「いない」(27.0%)が他の年代に比べ多い割合となっている。

地区別で見ると、それぞれの地区で割合に大きな差はないが、北上地区で「1~4人程度いる」(62.4%)が目立って多く、「5~9人程度いる」「いない」が1割台となっている。

問8 食育に関心がありますか。

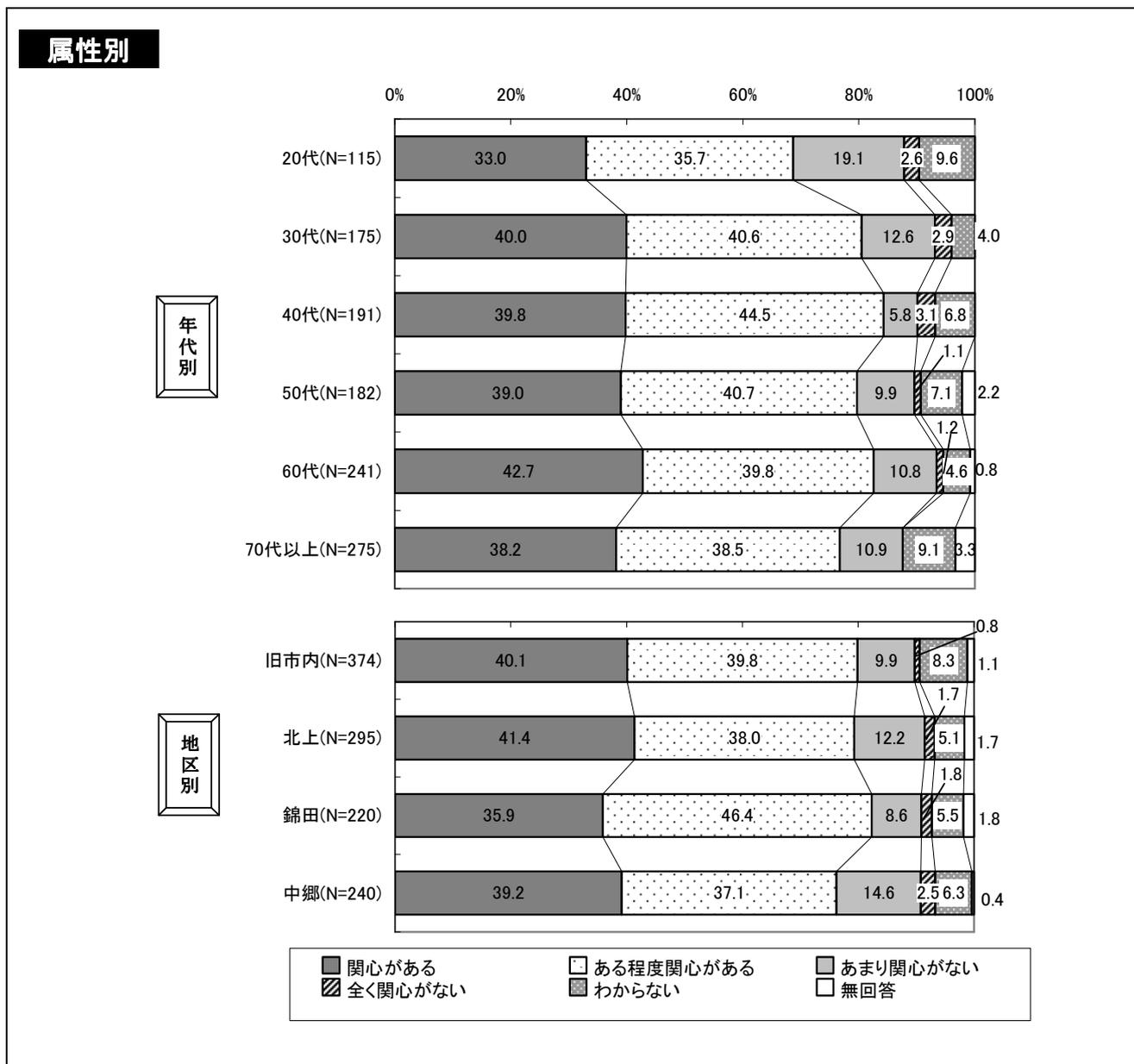


「ある程度関心がある」(40.1%) が最も多く、次いで「関心がある」(39.3%) となっている。最も少なかったのは「全く関心がない」(1.6%) となっている。



性別で見ると、男性では「ある程度関心がある」(40.3%) が最も多く、「関心がある」(36.0%) より 4.3 ポイント高くなっている。女性では「関心がある」(41.8%)、「ある程度関心がある」(40.1%) が共に 4 割台で、大きな差は見られない。食育に対する関心は若干女性の方が高い傾向が見られる。

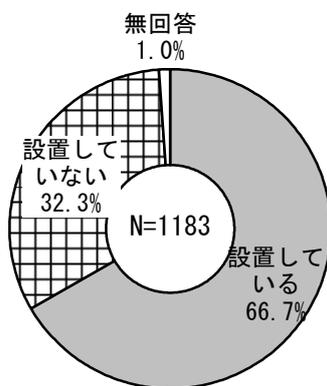
II 調査結果



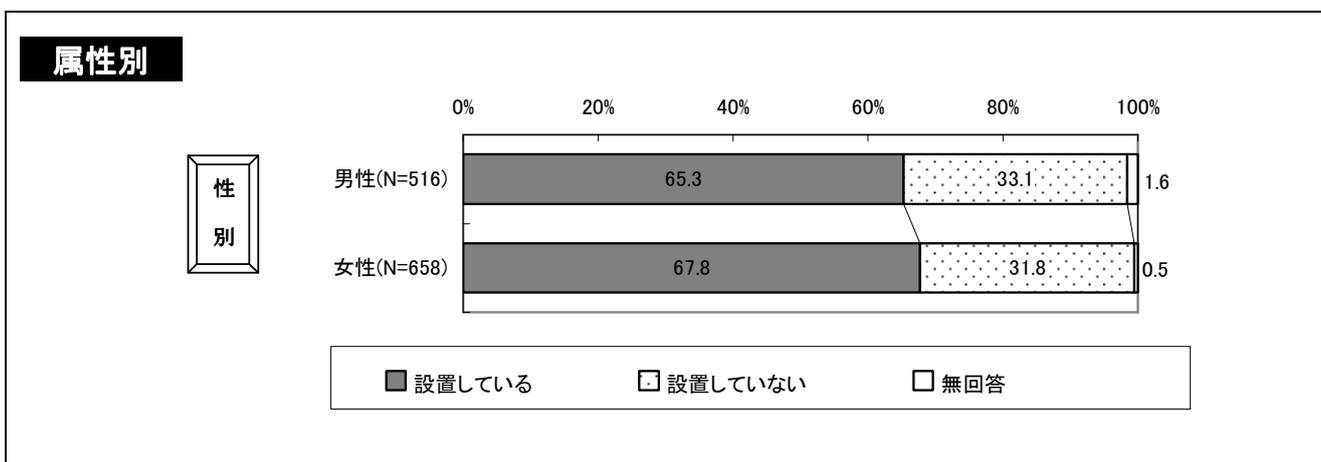
年代別で見ると、60代では「関心がある」(42.7%)が最も多く、「ある程度関心がある」(39.8%)と合わせて8割以上と、高い割合になっている。20代では「あまり関心がない」(19.1%)が2割近い結果となっている。

地区別で見ると、地区による大きな差は見られないが、錦田地区の「ある程度関心がある」(46.4%)が、他よりも高い割合になっている。

問9 住宅用火災警報器を設置していますか。

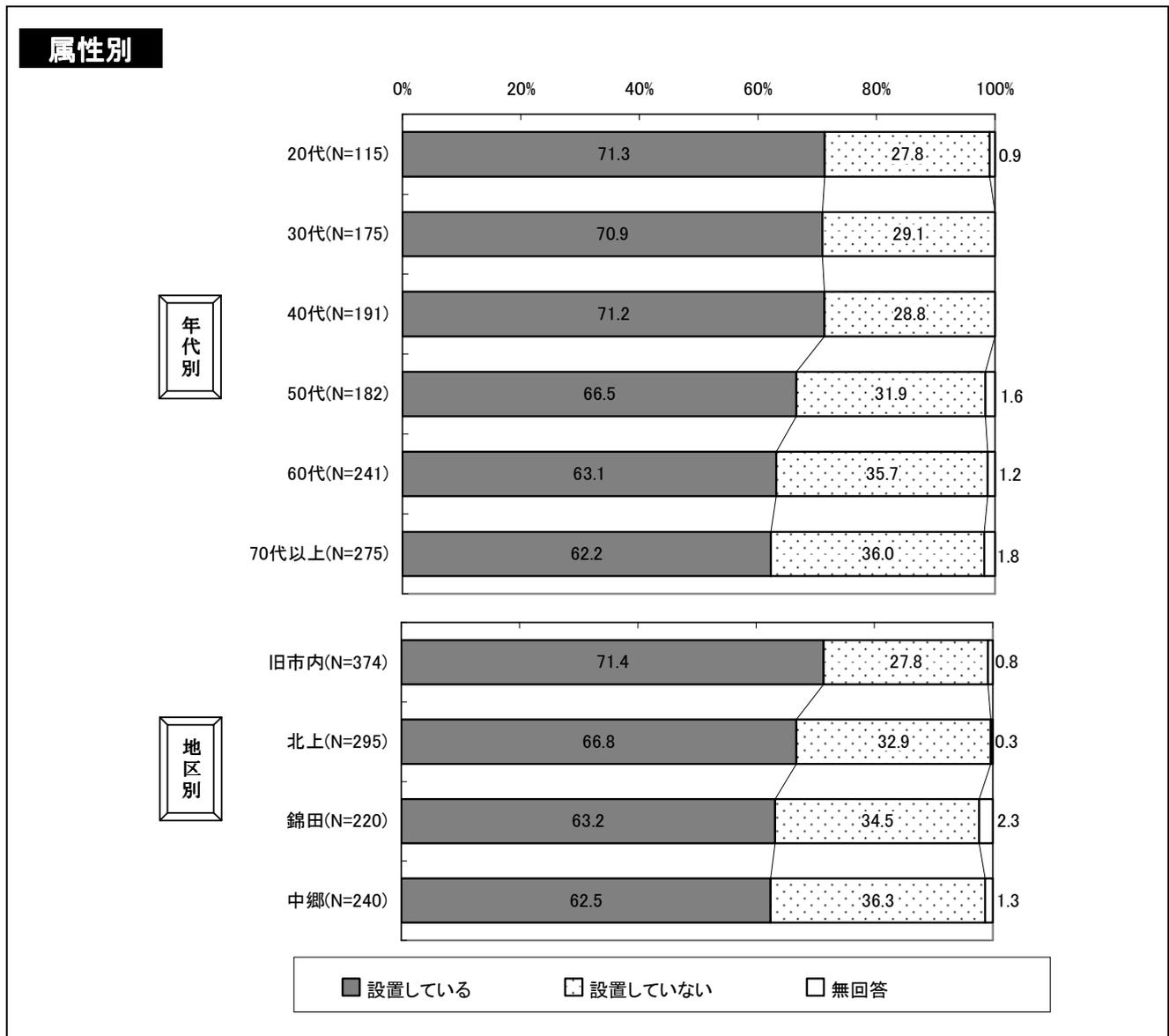


「設置している」(66.7%) が最も多く、全体の6割以上を占めている。



性別で見ると、「設置している」(男性 65.3%、女性 67.8%) が多くなっている。男女で大きな差は見られない。

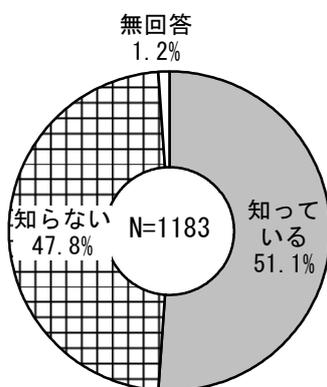
II 調査結果



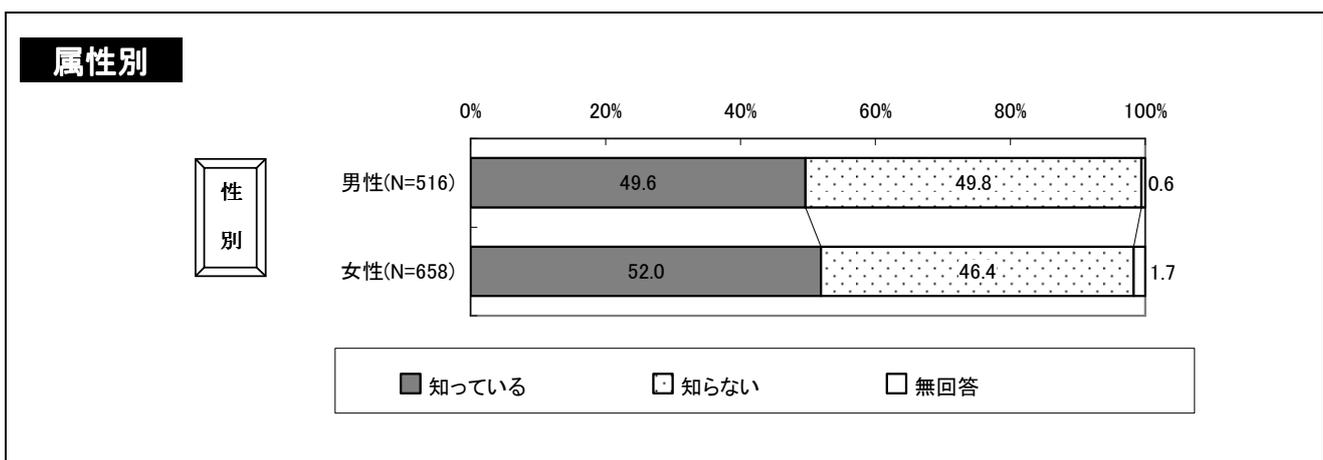
年代別で見ると、20代では「設置している」(71.3%)が最も多くなっている。また、40代(71.2%)、30代(70.9%)と「設置している」が7割以上となっている。一方、70代以上で「設置していない」(36.0%)が3割以上となっている。

地区別で見ると、旧市内地区で「設置している」(71.4%)と最も多く、「設置していない」は2割台にとどまっている。他の地区でも「設置している」と回答している人は、6割以上となっている。

問 10 市民相談室で消費生活相談を行なっていることを知っていますか。

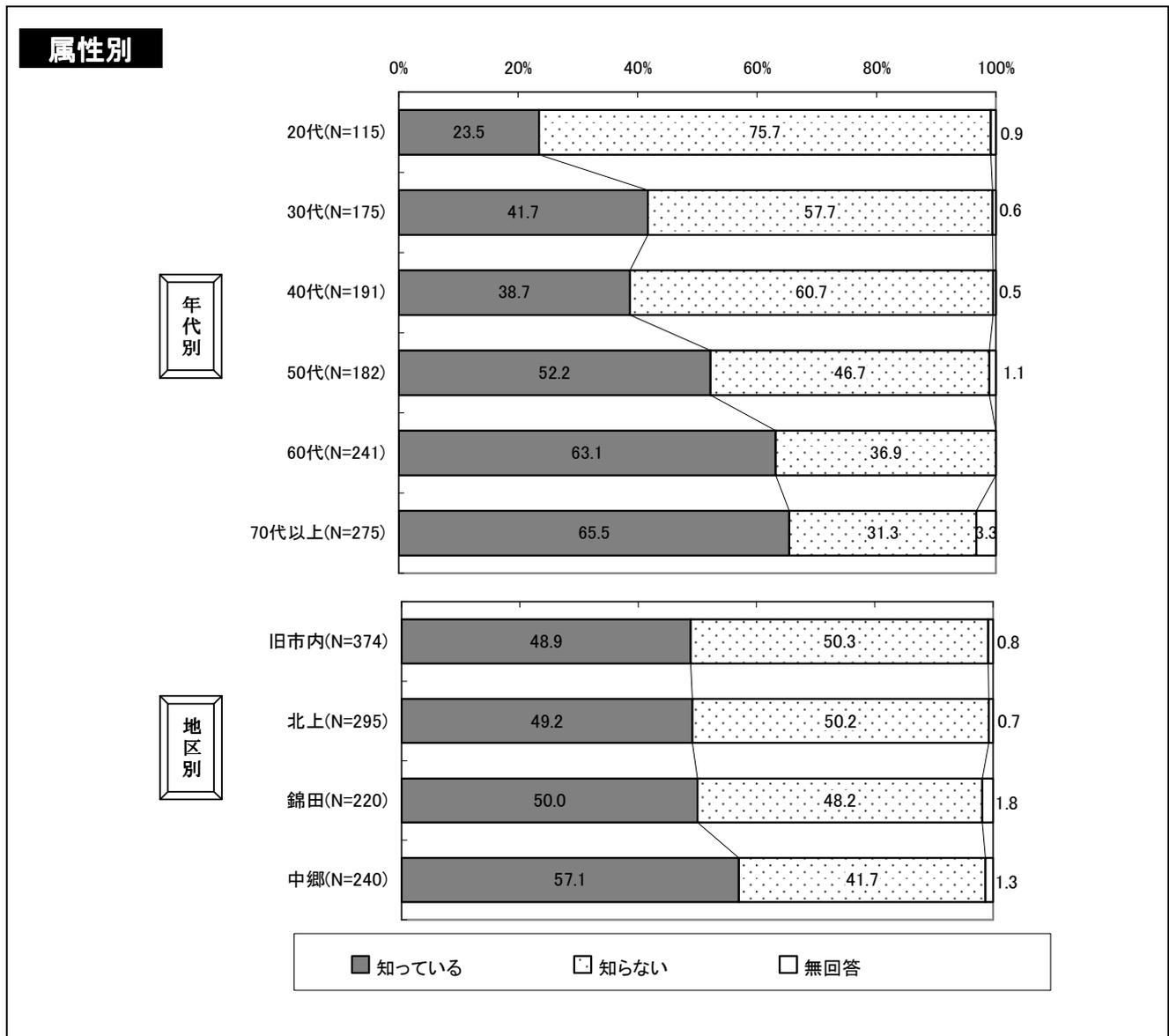


「知っている」(51.1%) に対し、「知らない」(47.8%) では、かろうじて「知っている」割合が高くなっている。



性別で見ると、女性は「知っている」(52.0%) が半数以上となっている。男性は「知っている」(49.6%)、「知らない」(49.8%) で大きな差は見られなかった。

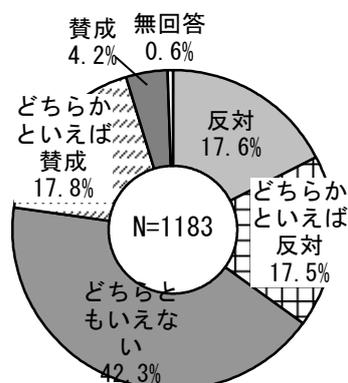
II 調査結果



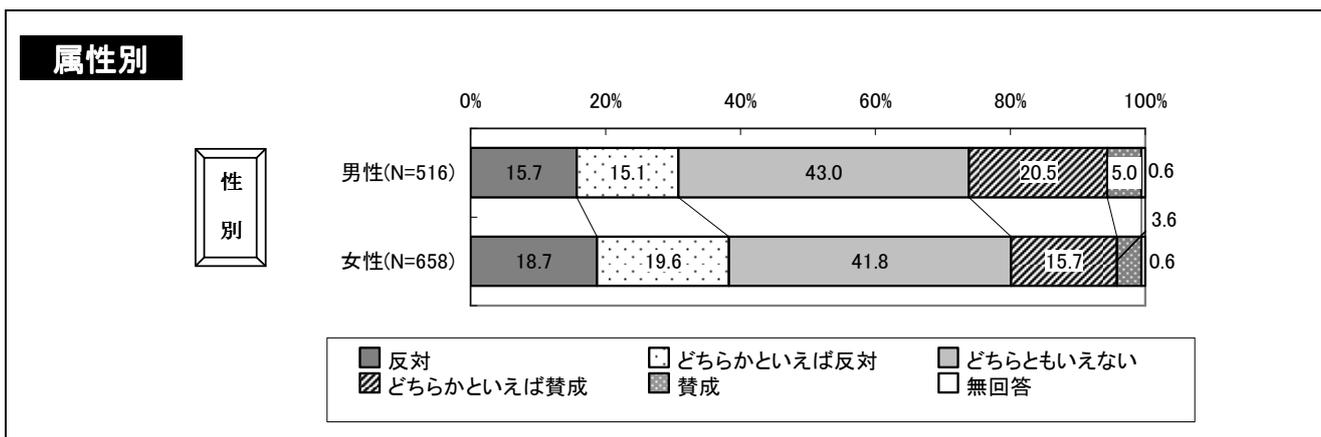
年代別で見みると、70代以上は「知っている」(65.5%)が6割以上と多くなっている。また、「知らない」(31.3%)が、他の年代に比べ少ない割合になっている。一方、20代は「知っている」(23.5%)が3割未満となっている。40代以上で見ると「知っている」割合は、年代が上がるごとに増える傾向がみられる。

地区別で見ると、各地区とも「知っている」「知らない」が半数の割合であるが、中郷地区で「知っている」(57.1%)は6割近くになっている。

問 1 1 「男性は仕事、女性は家庭」という考え方をどう思いますか。

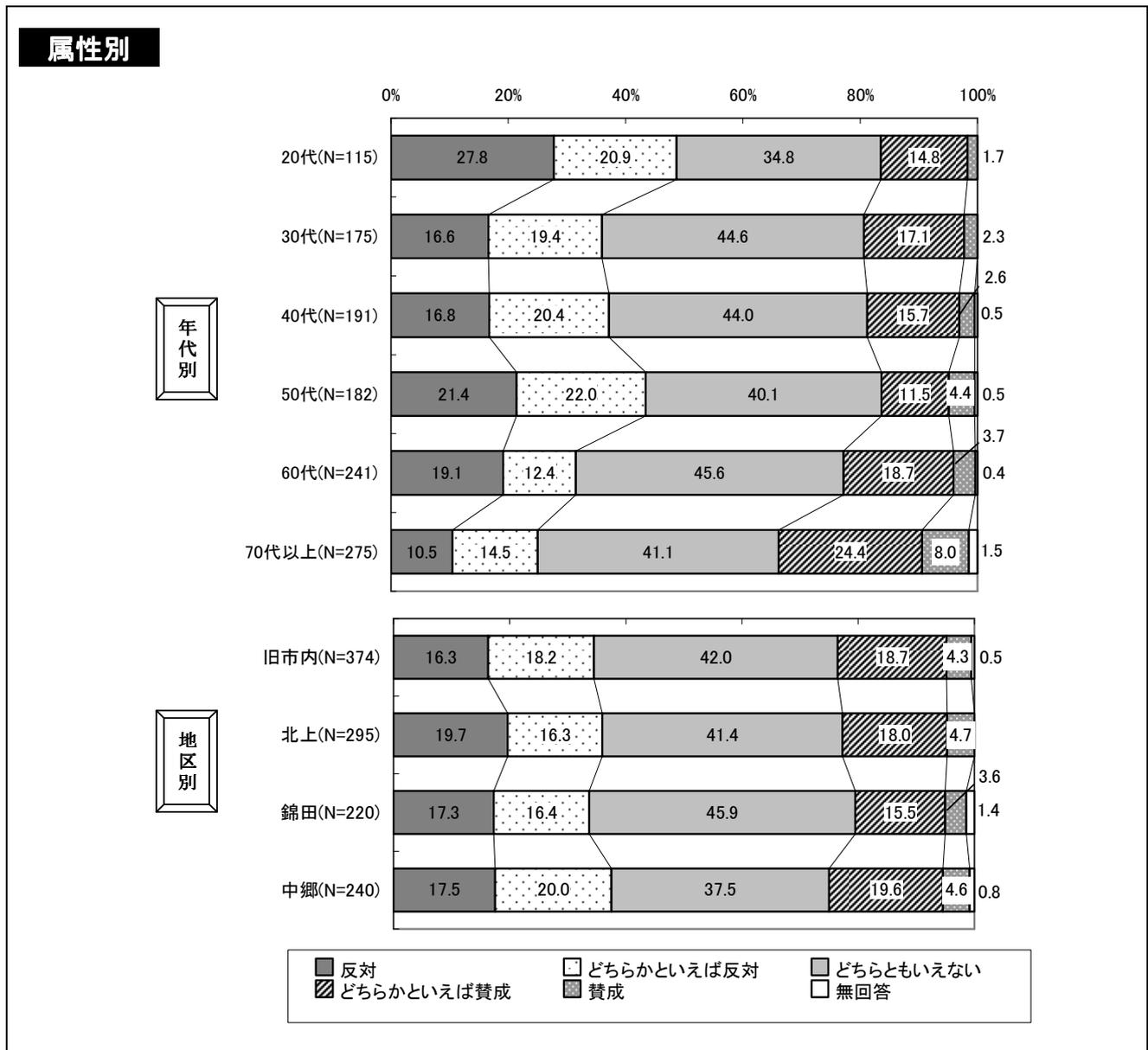


「どちらともいえない」(42.3%) が最も多く、全体の4割以上を占めている。「どちらかといえば賛成」(17.8%) と、「どちらかといえば反対」(17.5%) では大きな差は見られない。



性別で見ると、男性は「どちらともいえない」(43.0%) が最も多く、女性(41.8%) と比べ大きな差は見られない。次いで多い「どちらかといえば賛成」では男性(20.5%)が、女性(15.7%)を4.8ポイント上回っている。

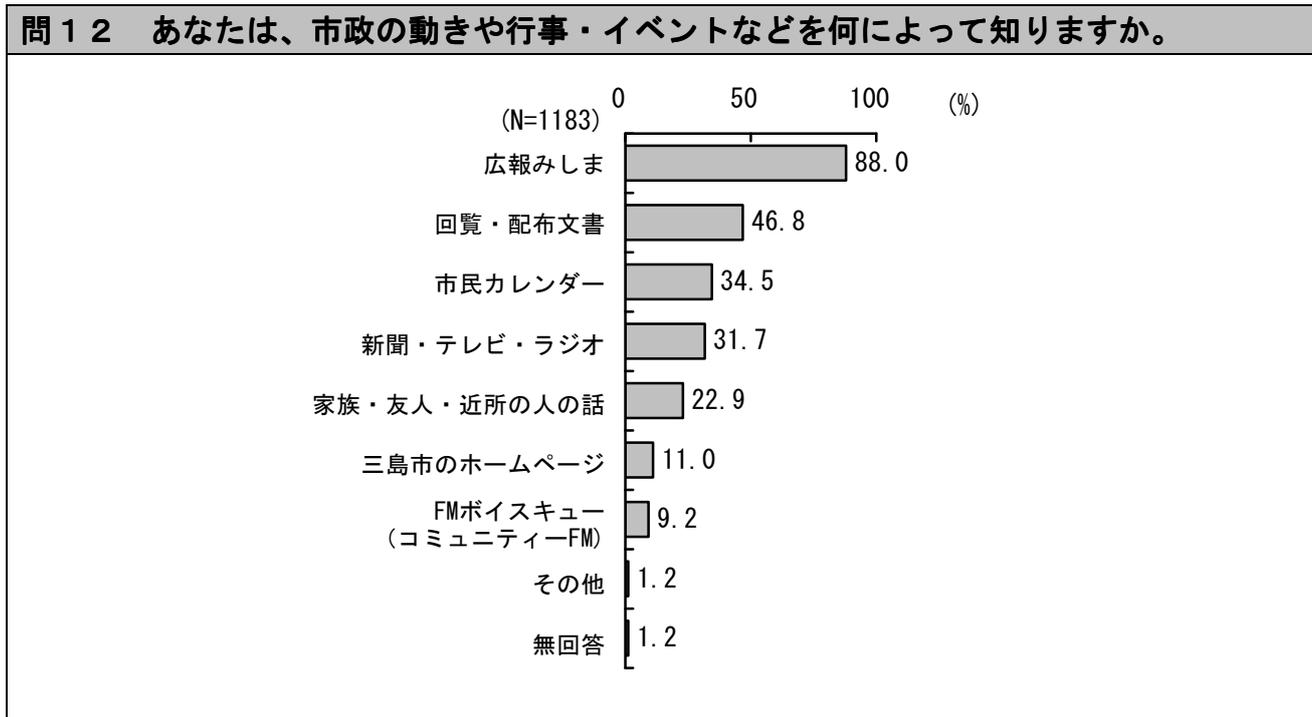
II 調査結果



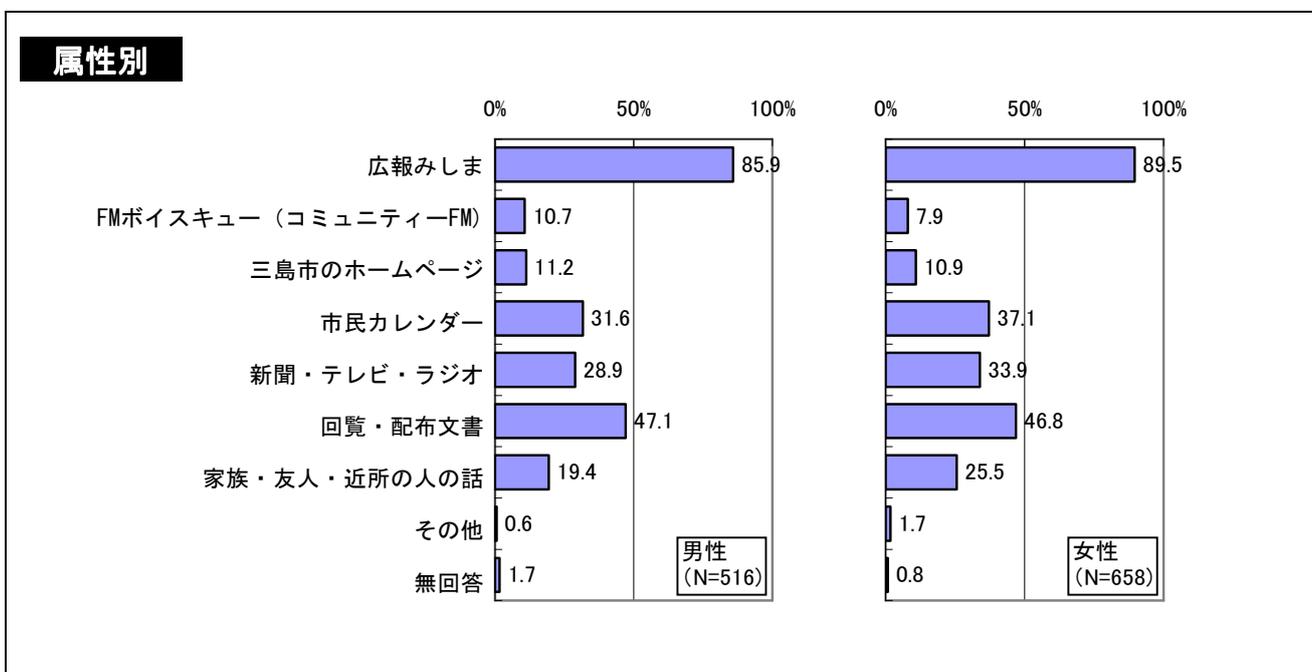
年代別で見ると、20代で「反対」(27.8%)が最も多く「どちらかといえば反対」(20.9%)と共に2割台となっている。70代以上は「どちらかといえば賛成」(24.4%)が他の年代に比べて多く、年代が上がる割合が高くなる傾向になっている。

地区別に見ると、北上地区(19.7%)、中郷地区(17.5%)、錦田(17.3%)、旧市内地区(16.3%)のそれぞれの地区で「反対」の割合に大きな差は見られない。

5 広報について

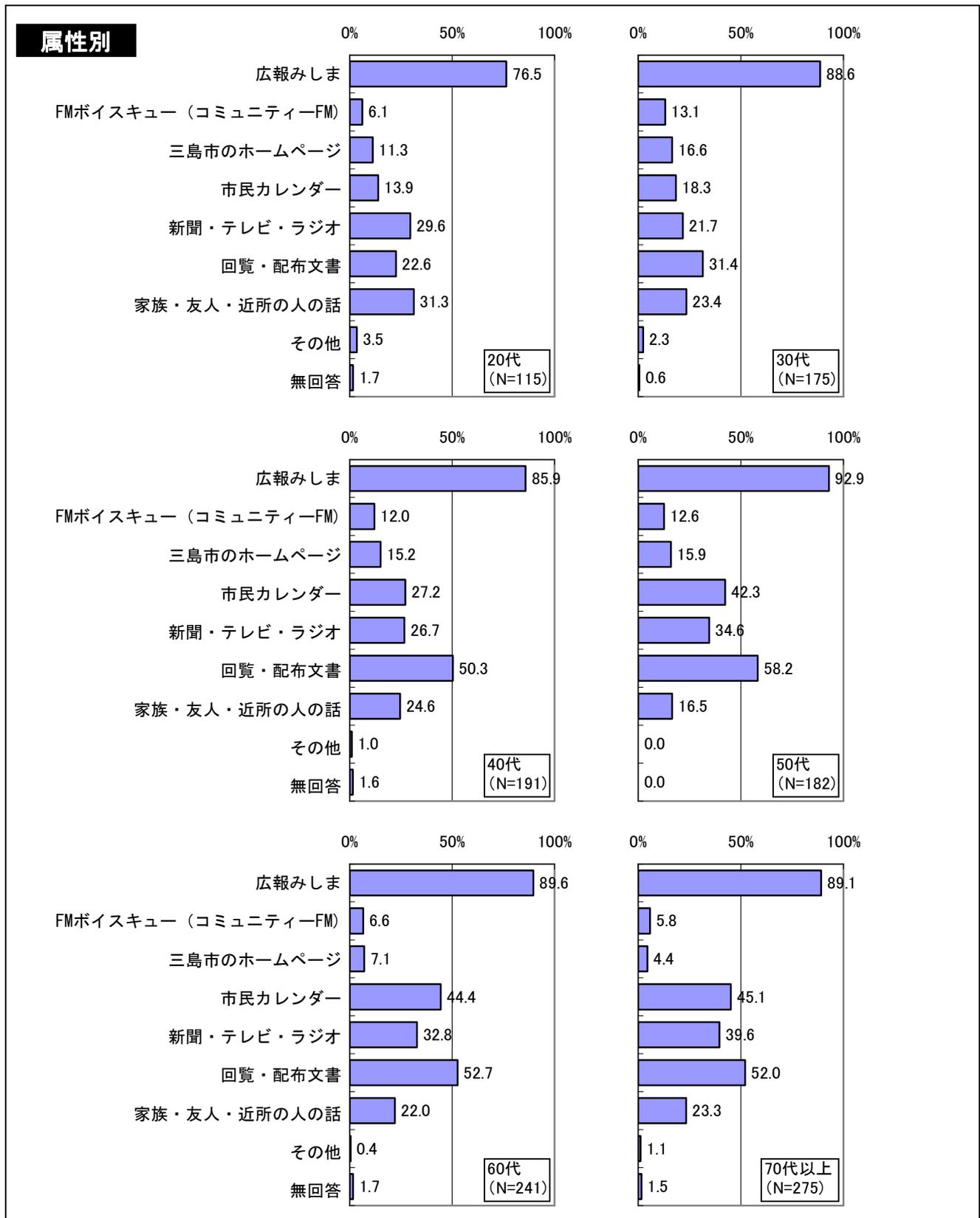


市政の動きや行事・イベントを何によって知ったかを聞いたところ、「広報みしま」(88.0%) が最も多く全体の9割近くを占めている。次いで「回覧・配布文書」(46.8%) となっている。



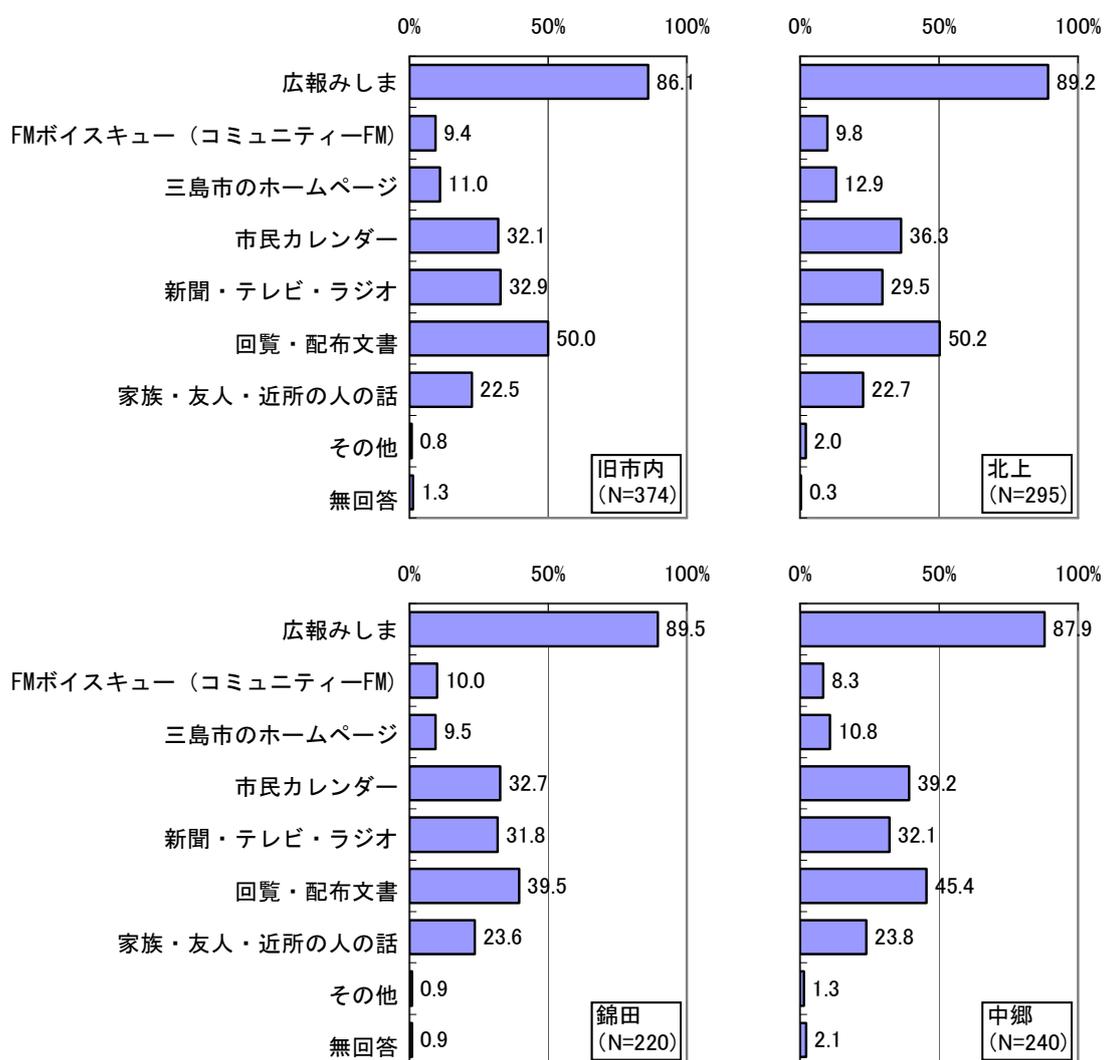
性別で見ると、女性は「家族・友人・近所の人と話」(25.5%) が4人に1人となっている。

II 調査結果



年代別で見ると、50代以上で「市民カレンダー」が4割を超え、また40代以上において「回覧・配布文書」が5割を超え高くなっている。60代以上では「三島のホームページ」は1割未満と少なくなっている。

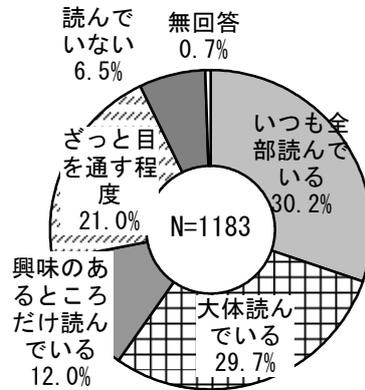
属性別



地区別で見ると、旧市内地区、北上地区で「回覧・配布文書」がいずれも5割となっている。錦田地区においては「市民カレンダー」「新聞・テレビ・ラジオ」「回覧・配布文書」がそれぞれ3割台と分かれている。

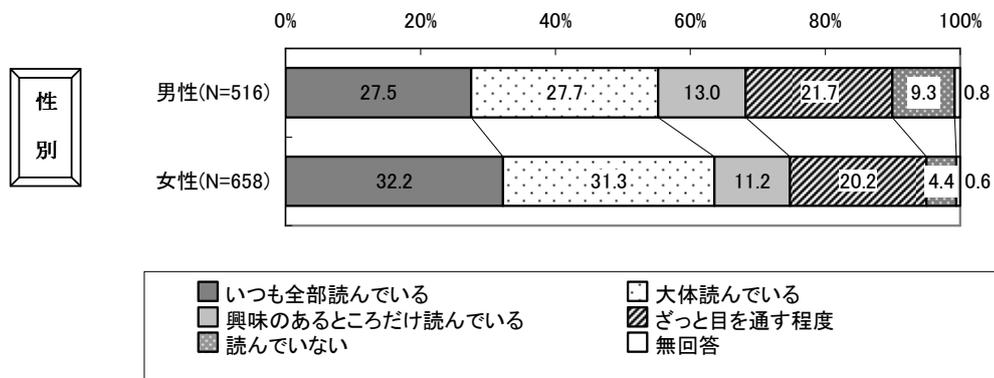
II 調査結果

問13 三島市では、毎月1日と15日に「広報みしま」を発行していますが、あなたは読んでいますか。

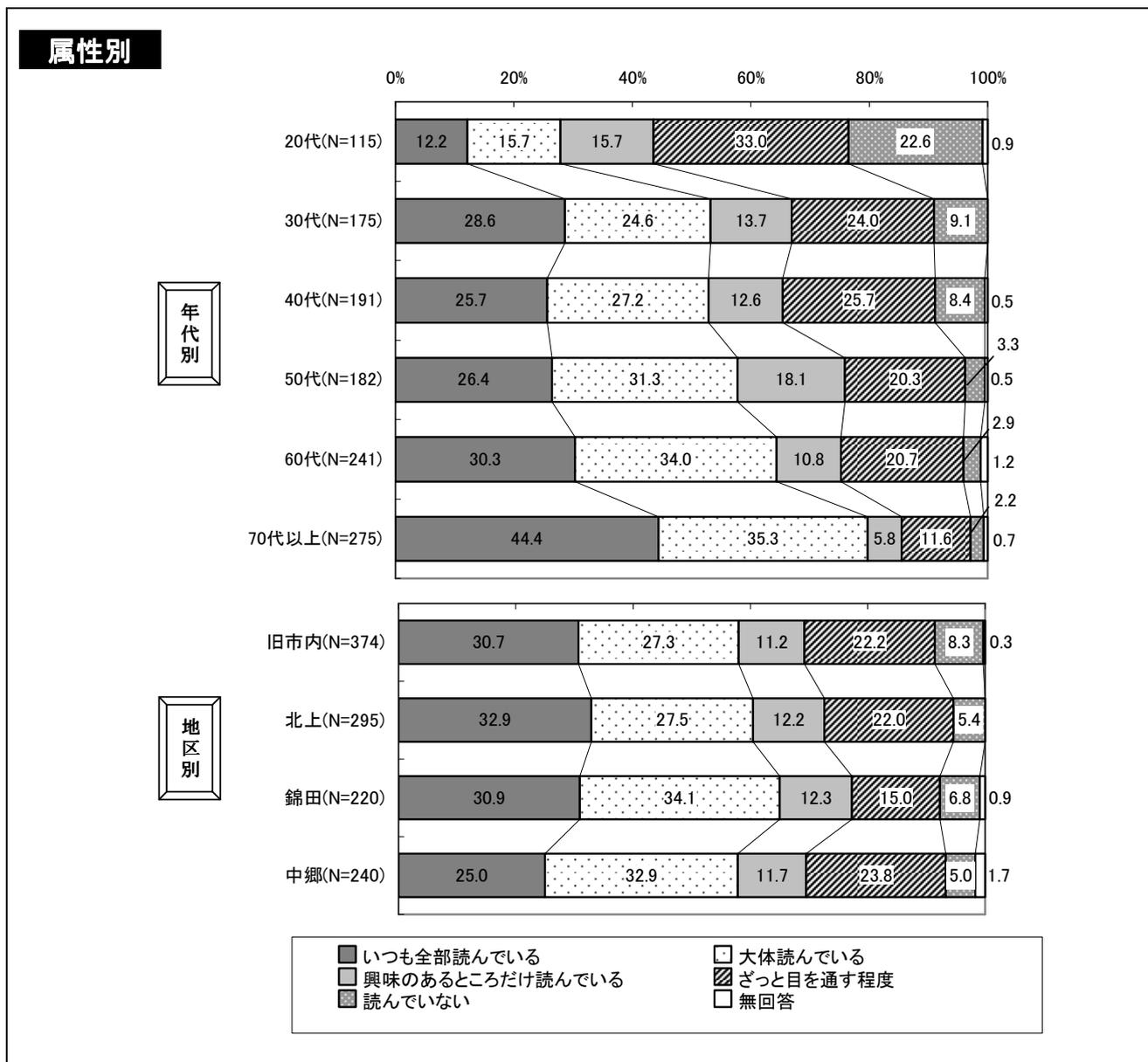


「広報みしま」を読んでいるかを聞いたところ、「いつも全部読んでいる」(30.2%)が最も多く、次いで「大体読んでいる」(29.7%)、「ざっと目を通す程度」(21.0%)となっている。

属性別



性別で見ると、女性は「いつも全部読んでいる」と「大体読んでいる」を合わせた割合(63.5%)が、男性(55.2%)を8.3ポイント上回っている。また、男性は「読んでいない」(9.3%)が、女性(4.4%)を4.9ポイント上回っており、関心の低さが伺える。

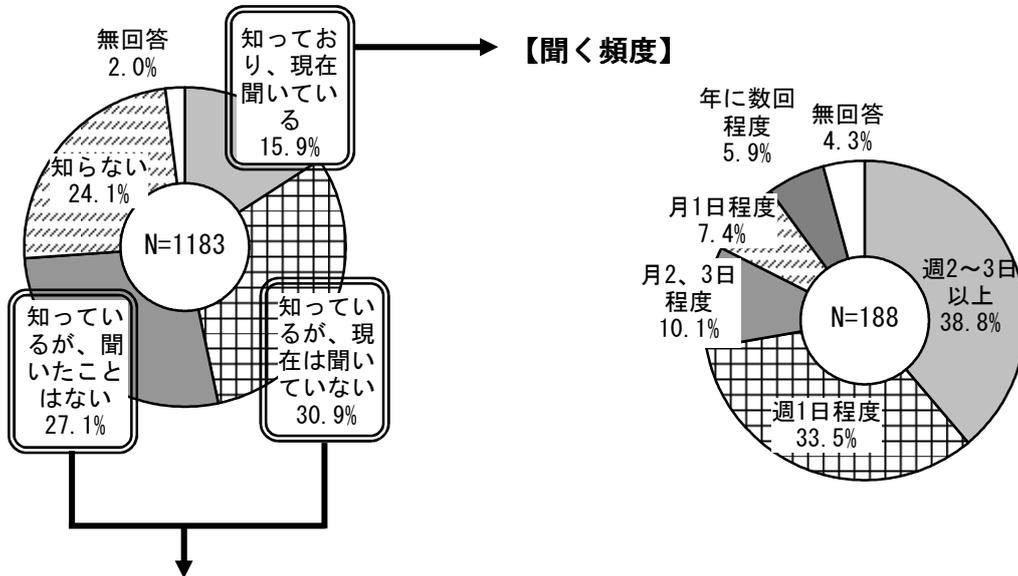


年代別で見ると、70代以上で「いつも全部読んでいる」(44.4%)が最も多く、「大体読んでいる」(35.3%)と合わせると、8割近くになっている。一方、20代は「いつも読んでいる」(12.2%)が他の年代に比べ少なく、関心度の低さが伺える。

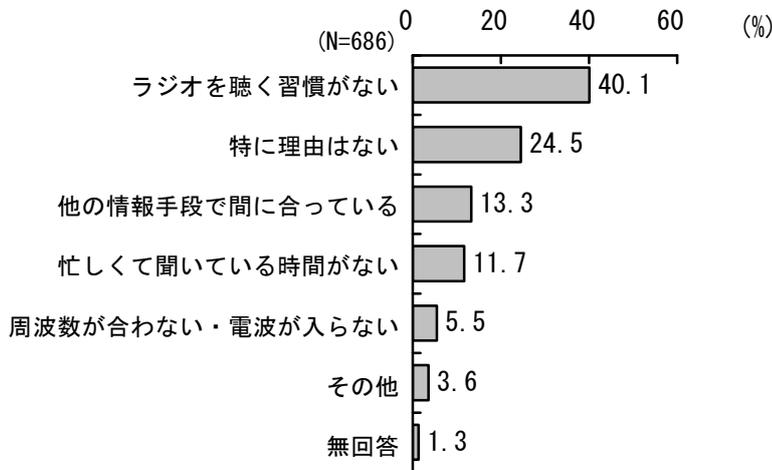
地区別で見ると、北上地区で「いつも全部読んでいる」(32.9%)が最も多く、「読んでいない」(5.4%)は1割に満たない。また、中郷地区では「いつも全部読んでいる」(25.0%)が他の地区に比べ少なくなっている。

II 調査結果

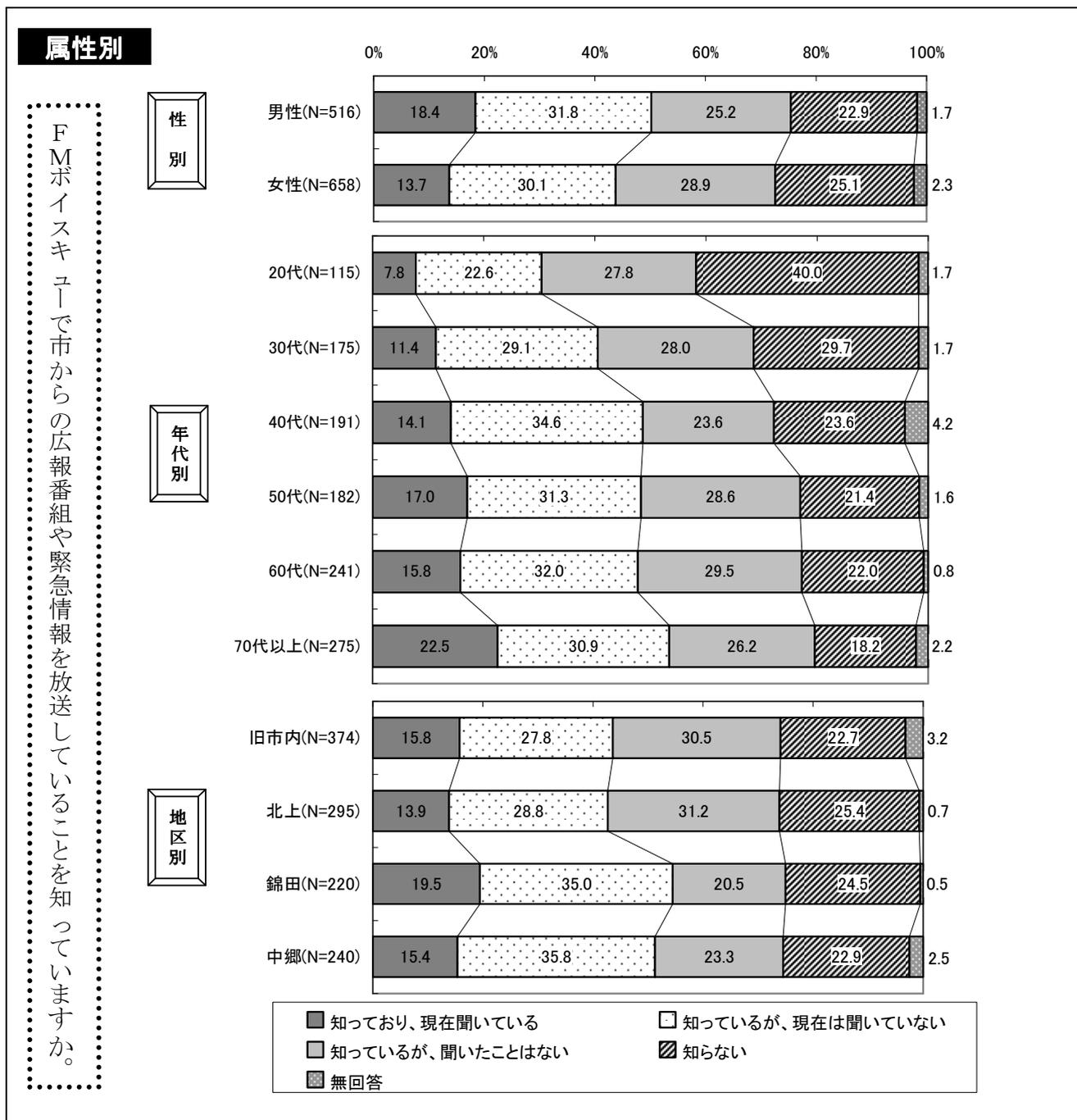
問14 三島市では、FMボイスキュー（コミュニティFM）で三島市からの広報番組や緊急情報を放送しています。あなたはこの放送を知っていますか。



【聞かない理由】



FMボイスキューで市からの情報を放送していることを知っているかを聞いたところ、「知っているが現在は聞いていない」(30.9%)が最も多く、聞く頻度では「週2～3日以上」(38.8%)が最も多くなっている。また、聞かない理由では「ラジオを聴く習慣がない」(40.1%)が、最も多くなっている。

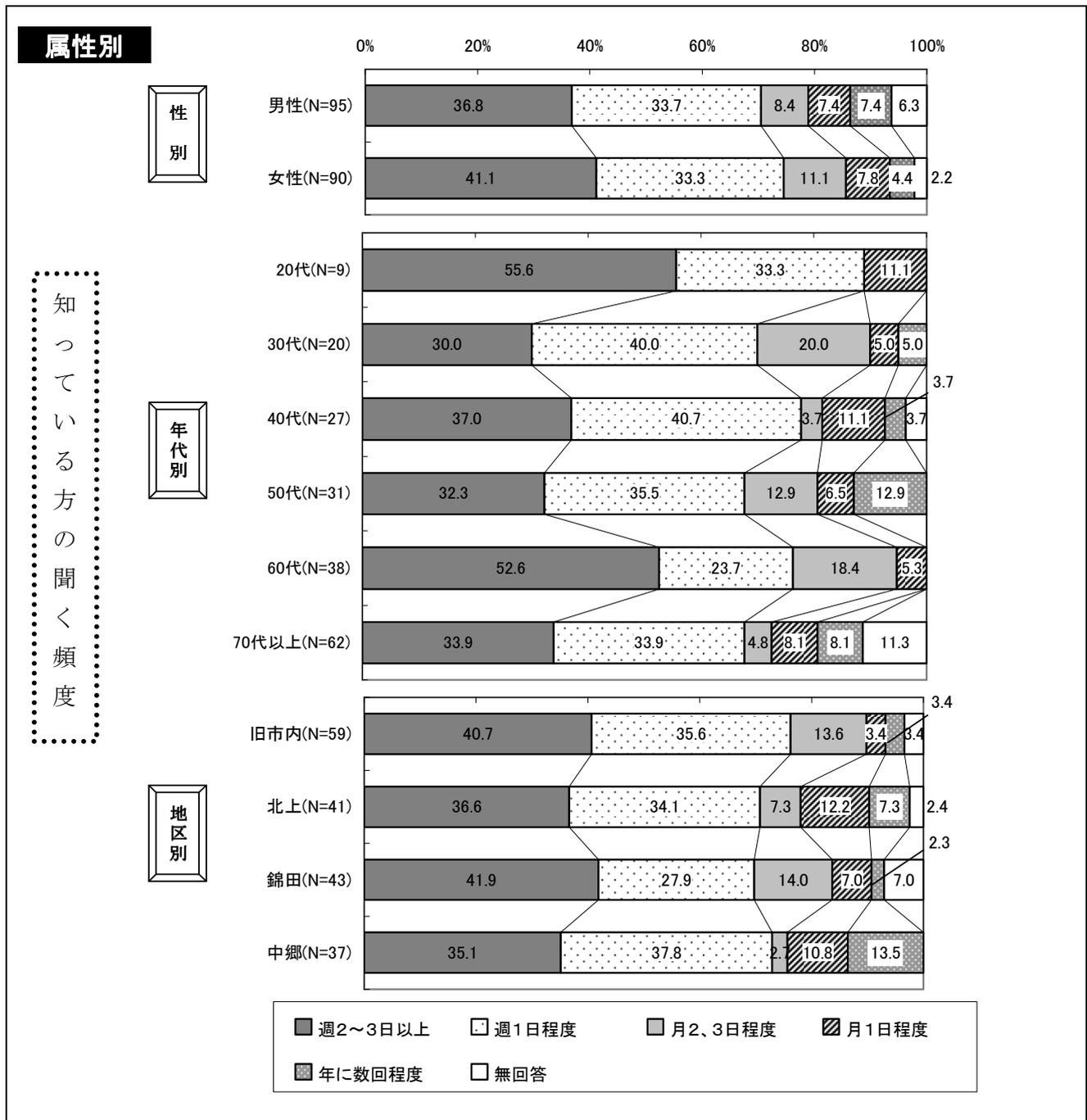


性別で見ると、男性で「知っているが、現在は聞いていない」(31.8%)が最も多くなっている。また「知っているが、聞いたことはない」、「知らない」は2割台となっている。女性では「知っているが、現在は聞いていない」(30.1%)で、男性共に3割台となっている。

年代別で見ると、20代で「知らない」(40.0%)が最も多く、他の年代に比べ1割以上差がみられる。したがって、「知らない」割合は年代が低いほど多い傾向が見られる。

地区別で見ると、中郷地区、錦田地区で「知っているが、現在は聞いていない」が3割以上で他の地区に比べ、若干多くなっている。

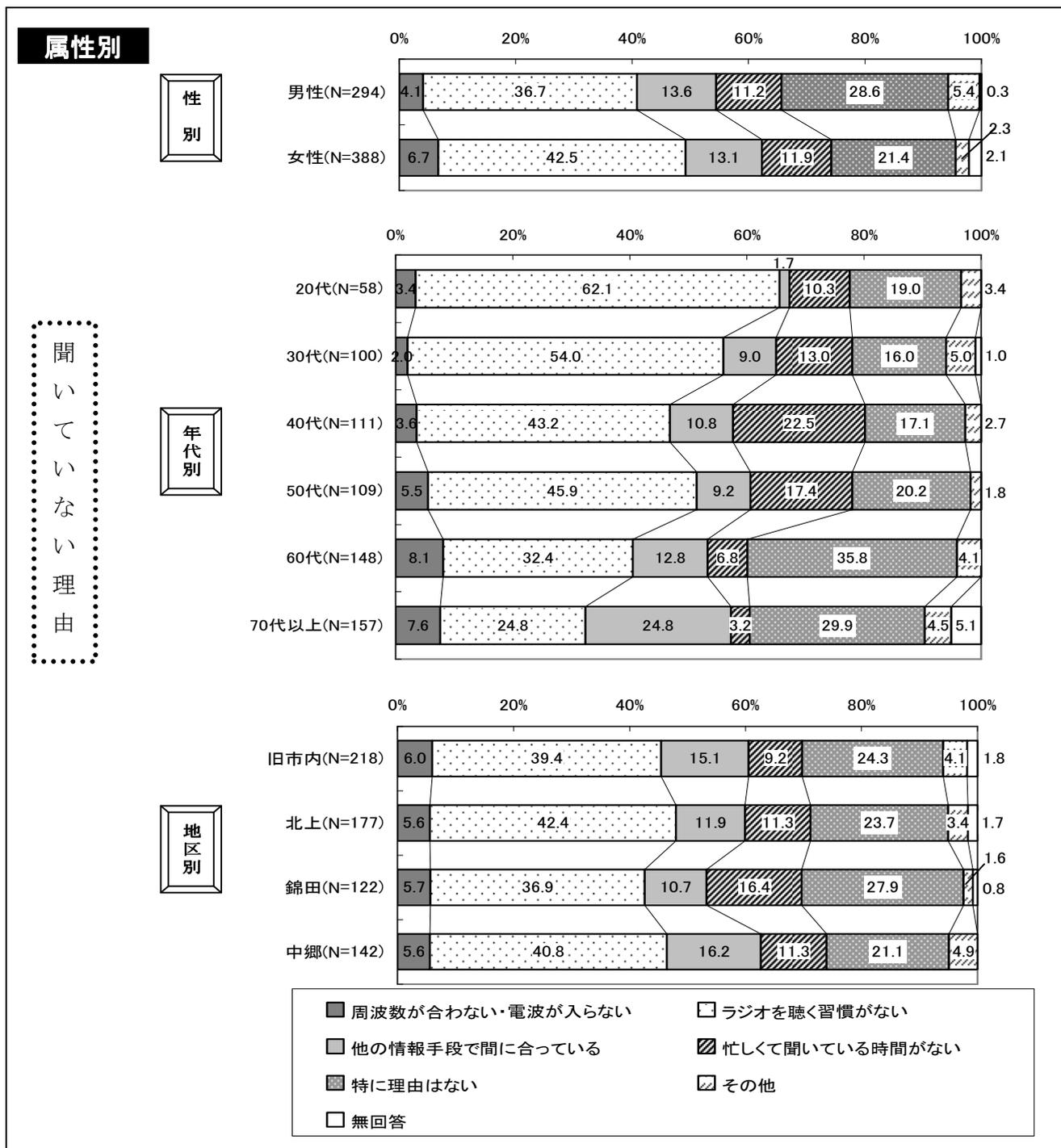
II 調査結果



性別で見ると、女性で「週2~3日以上」(41.1%)が最も多く、男性(36.8%)を4.3ポイント上回っている。

年代別で見ると、20代、60代で「週2~3日以上」が5割以上となっている。また、20代、40代で「月1日程度」は1割程度となっている。

地区別で見ると、錦田地区で「週2~3日以上」(41.9%)が最も多く、旧市内地区(40.7%)と共に4割台となっている。



性別で見ると、女性で「ラジオを聴く習慣がない」(42.5%)が最も多く、男性(36.7%)より5.8ポイント上回っている。

年代別で見ると、20代で「ラジオを聴く習慣がない」(62.1%)が半数以上を超えている。また、年代が低いほど割合が上がる傾向が見られる。

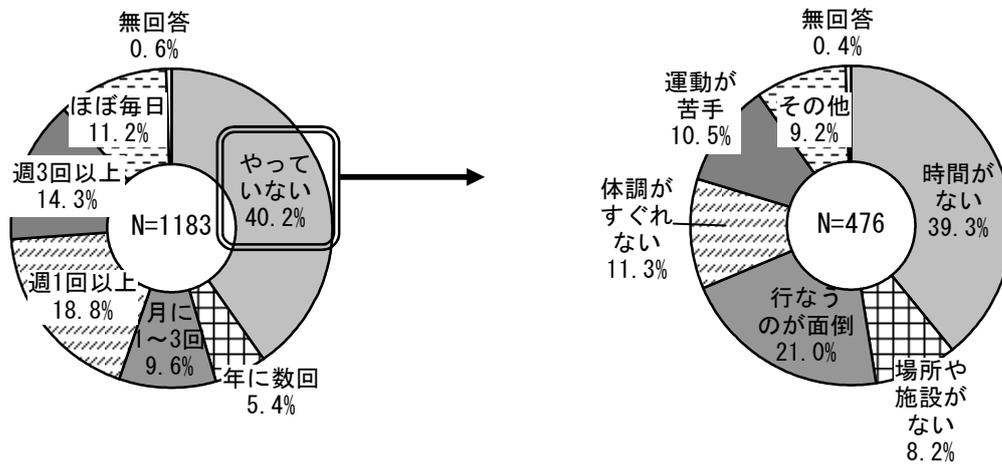
地区別で見ると、各地区で「ラジオを聴く習慣がない」が最も高く約4割となっている。

II 調査結果

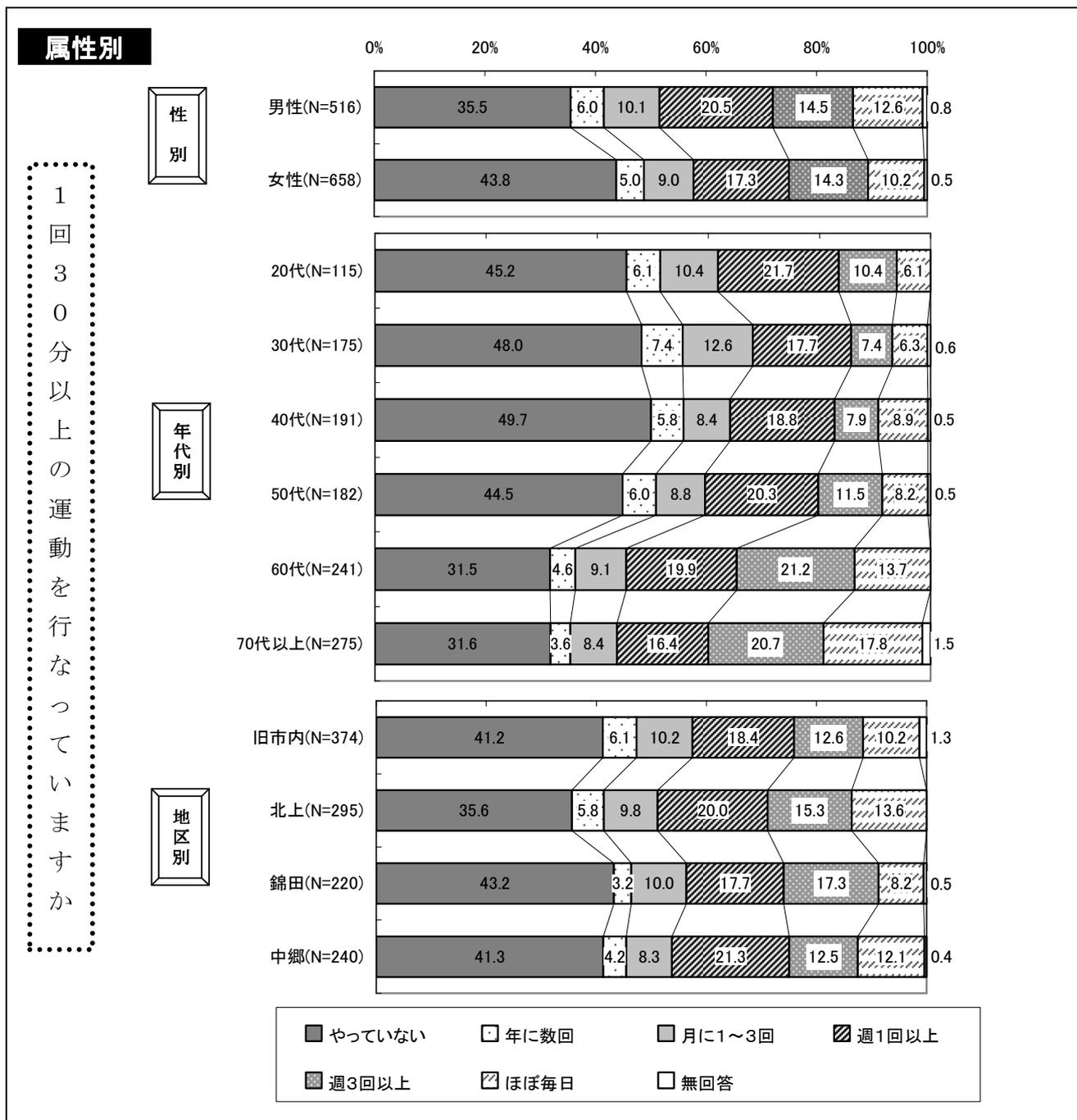
6 スポーツ環境について

問15 あなたは、1回30分以上の運動を行なっていますか。(運動には、ジョギングやウォーキングも含まれます。)

【やっていない理由】



1回30分以上の運動を行なっているかを聞いたところ、「やっていない」(40.2%)が最も多く、全体の4割以上を占めている。また、やっていない理由を聞いたところ「時間がない」(39.3%)が最も多く、次いで「行なうのが面倒」(21.0%)となっている。

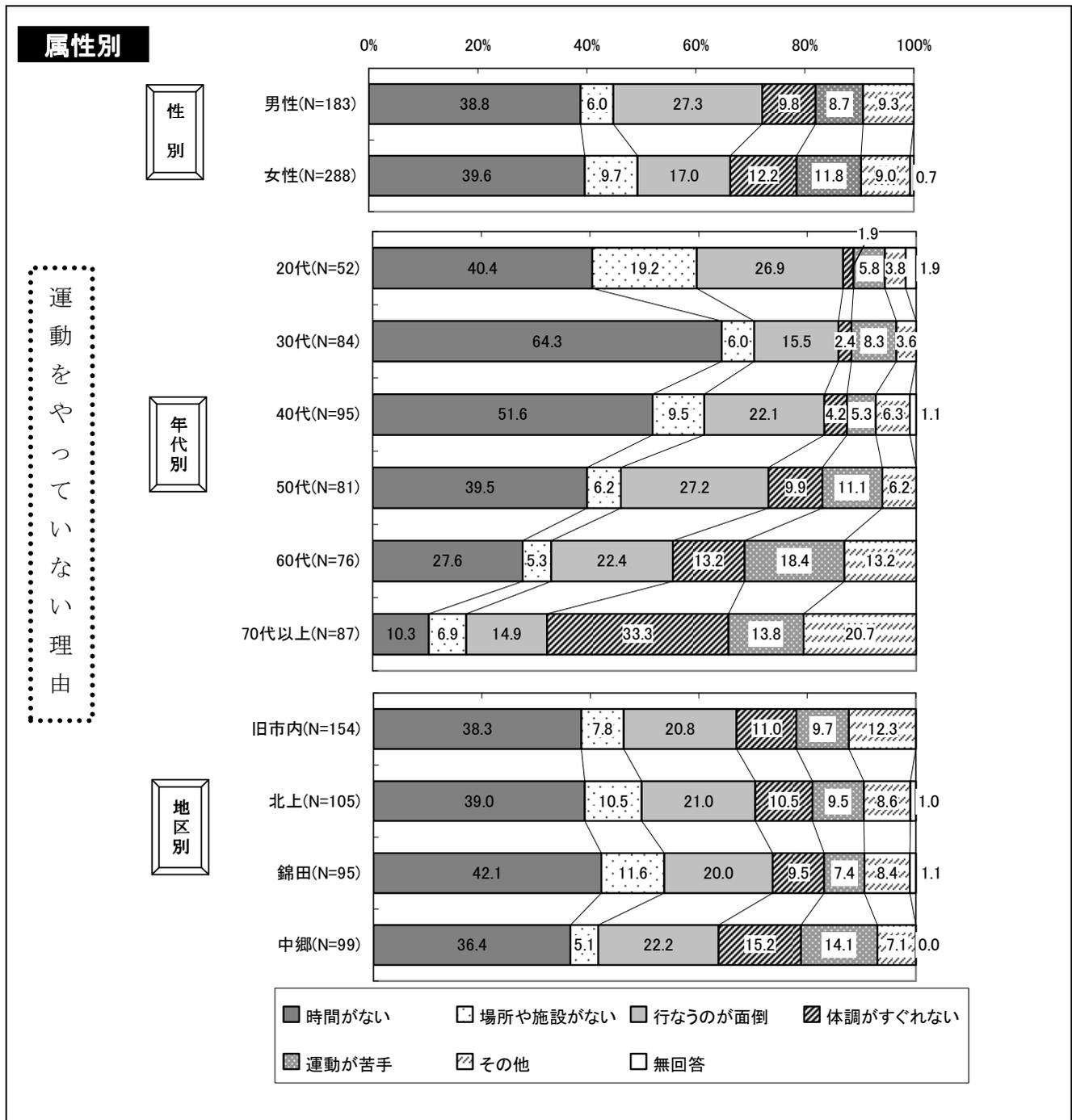


性別で見ると、女性で「やっていない」(43.8%)が最も多くなっている。また男性は「週1回以上」(20.5%)が5人に1人となっている。

年代別で見ると、40代で「やっていない」(49.7%)が最も多いが、30代(48.0%)、20代(45.2%)、50代(44.5%)と共に4割以上となっており、60代(31.5%)、70代以上(31.6%)では、3割台にとどまっている。

地区別で見ると、各地区で「やっていない」が4割前後と最も多くなっている。「週1回以上」が北上地区(20.0%)と中郷地区(21.3%)で2割を超えている。

II 調査結果

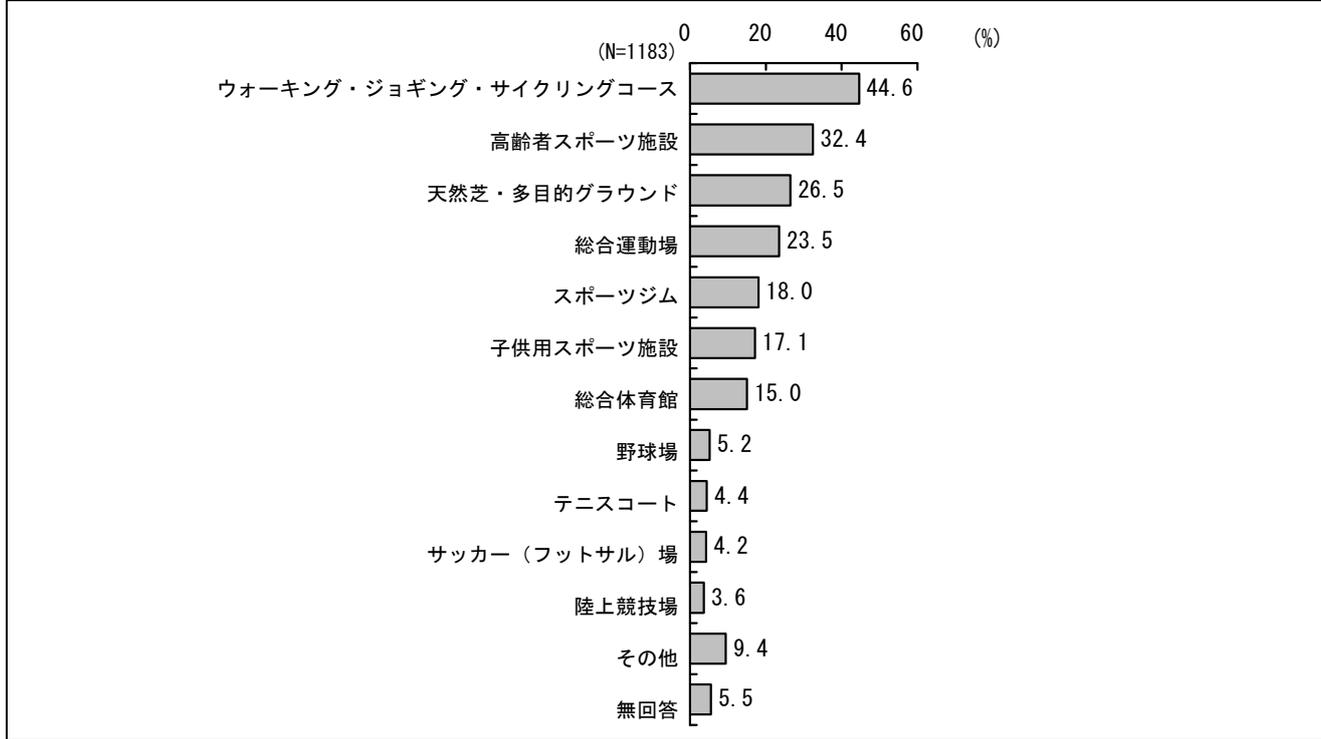


性別で見ると、女性で「時間がない」(39.6%)が最も多く、4割近くなっている。一方、男性では「行なうのが面倒」(27.3%)が、女性(17.0%)と比べると1割以上多くなっている。

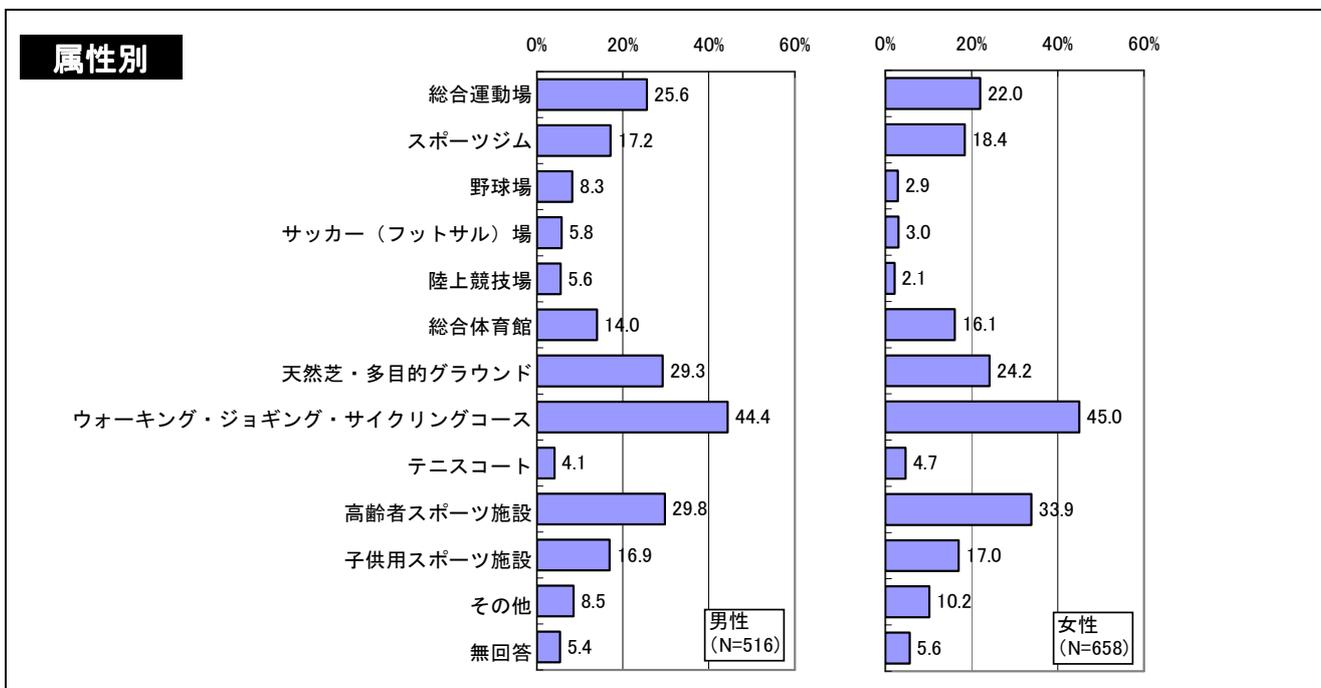
年代別で見ると、30代で「時間がない」(64.3%)が最も多く、半数を超えている。また、20代では「場所や施設がない」(19.2%)が最も多くなっている。

地区別で見ると、それぞれの地区で「時間がない」が3割以上、「行なうのが面倒」が2割以上の割合になっている。

問 16 あなたが、今後、三島市に必要なと思う施設はなんですか。



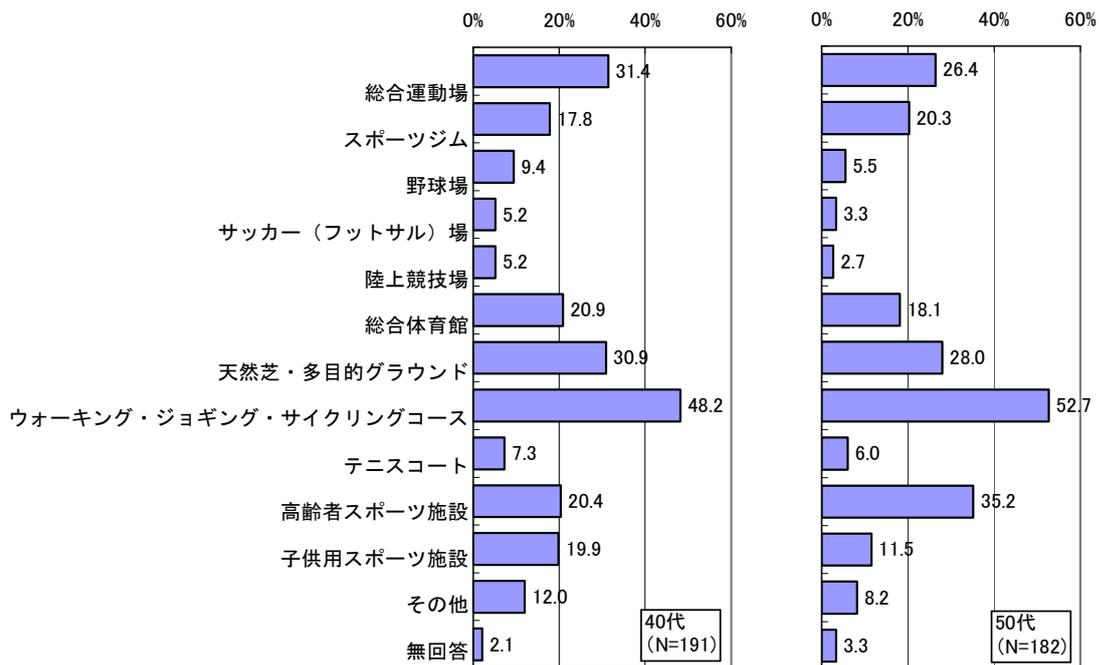
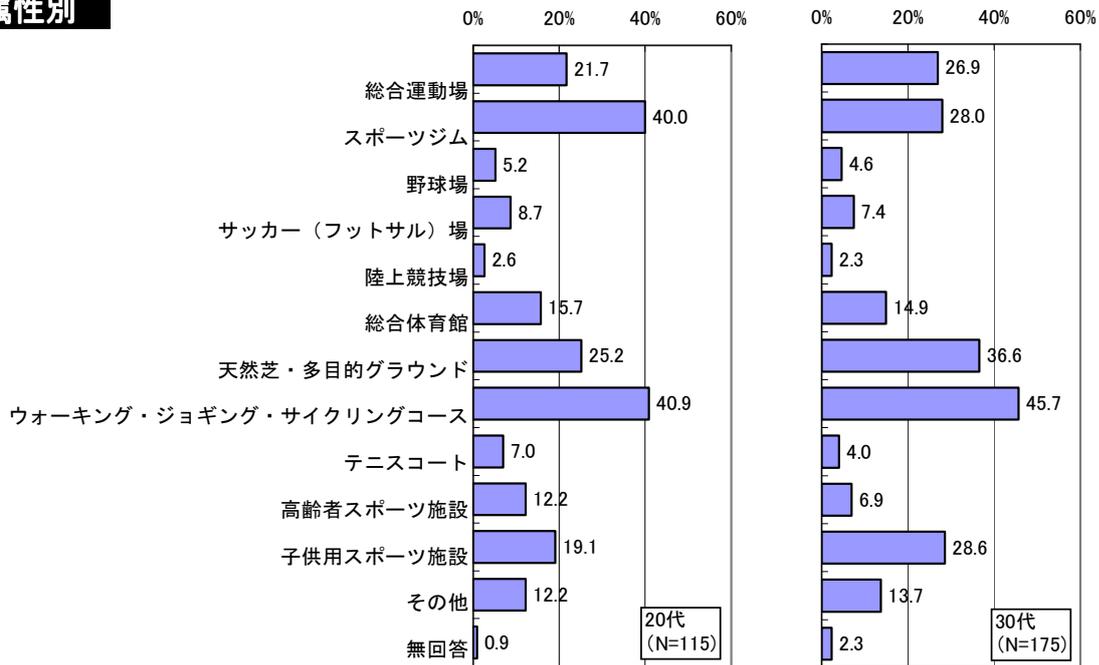
今後、三島市に必要なと思う施設は何かを聞いたところ、「ウォーキング・ジョギング・サイクリングコース」(44.6%) が最も多く、全体の4割以上を占めている。次いで「高齢者スポーツ施設」(32.4%)、「天然芝・多目的グラウンド」(26.5%) と続いている。

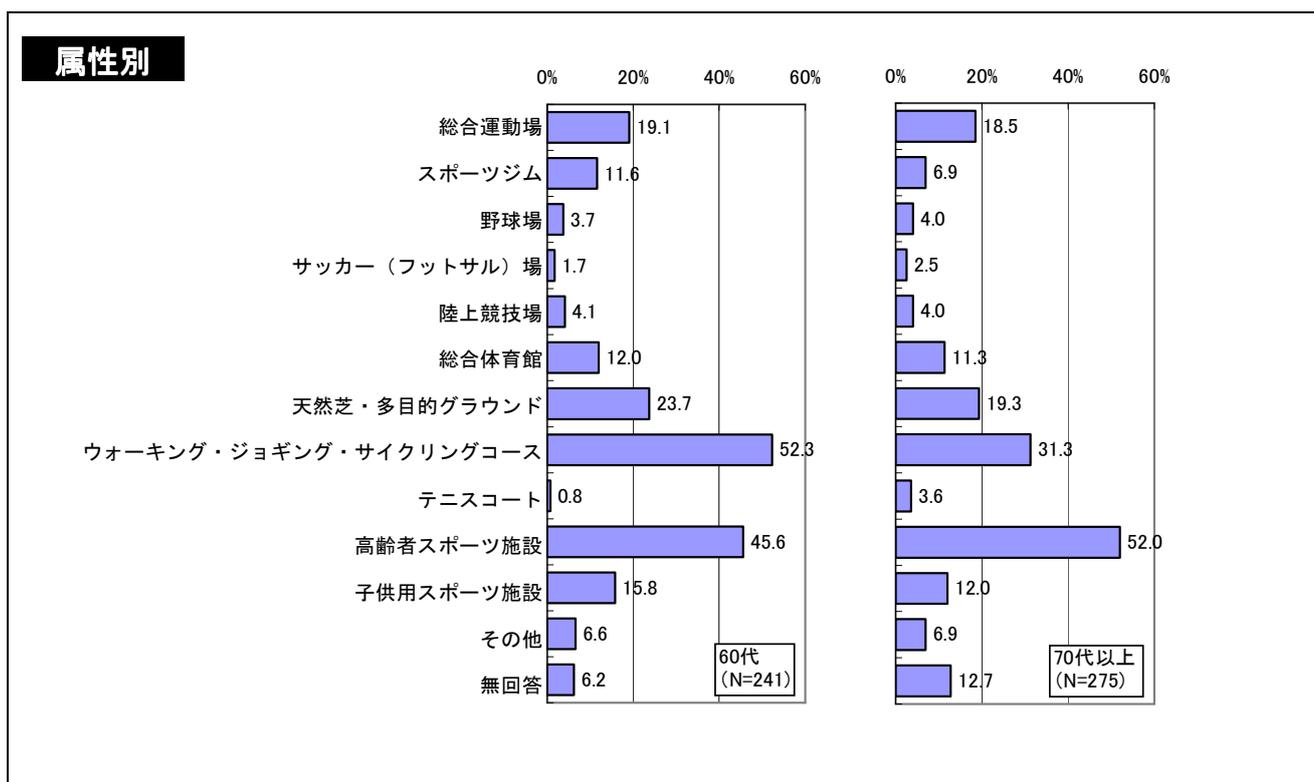


性別で見ると、「ウォーキング・ジョギング・サイクリングコース」(男性44.4%、女性45.0%) が最も多くなっている。女性では「高齢者スポーツ施設」(33.9%) が3人に1人を超え、やや多くなっている。

II 調査結果

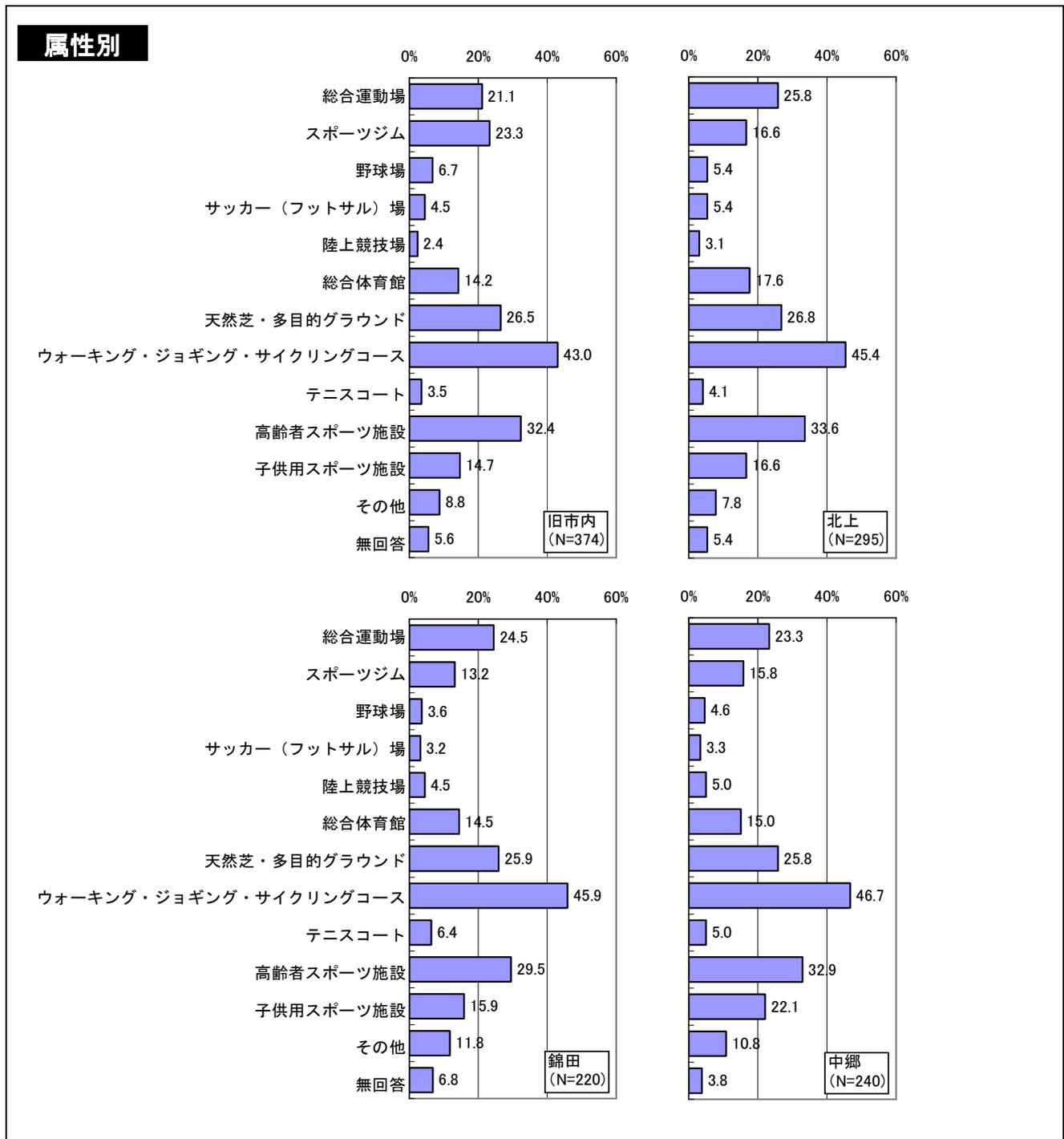
属性別





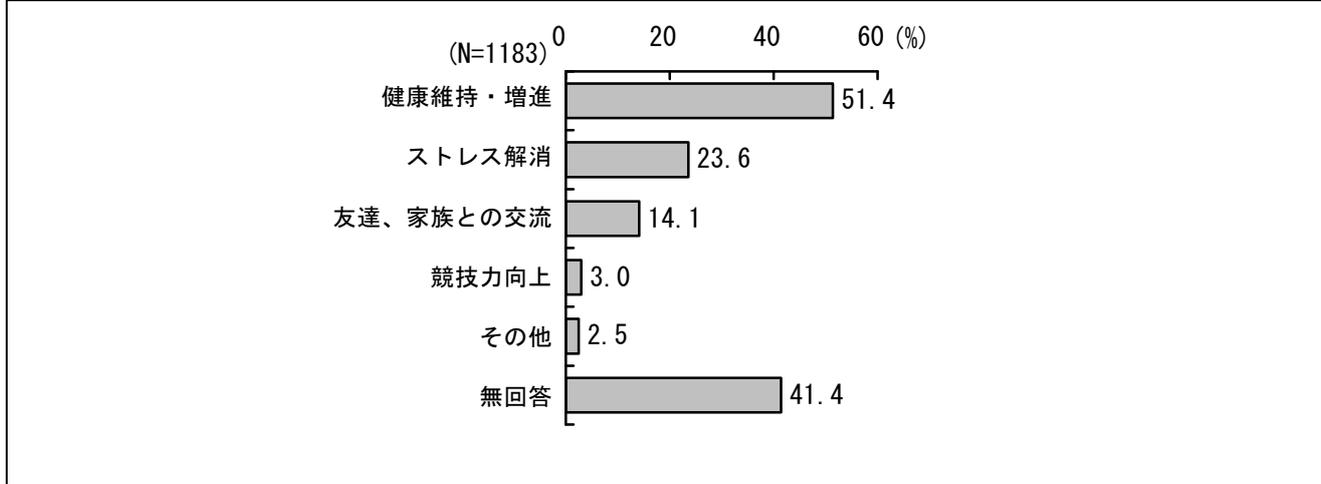
年代別で見ると、30代で「子ども用スポーツ施設」(28.6%)が、「ウォーキング・ジョギング・サイクリングコース」(45.7%)、「天然芝・多目的グラウンド」(36.6%)に次いで多く、対照的に「高齢者スポーツ施設」(6.9%)は少なくなっている。70代以上においては「高齢者スポーツ施設」(52.0%)が最も多くなっている。

II 調査結果

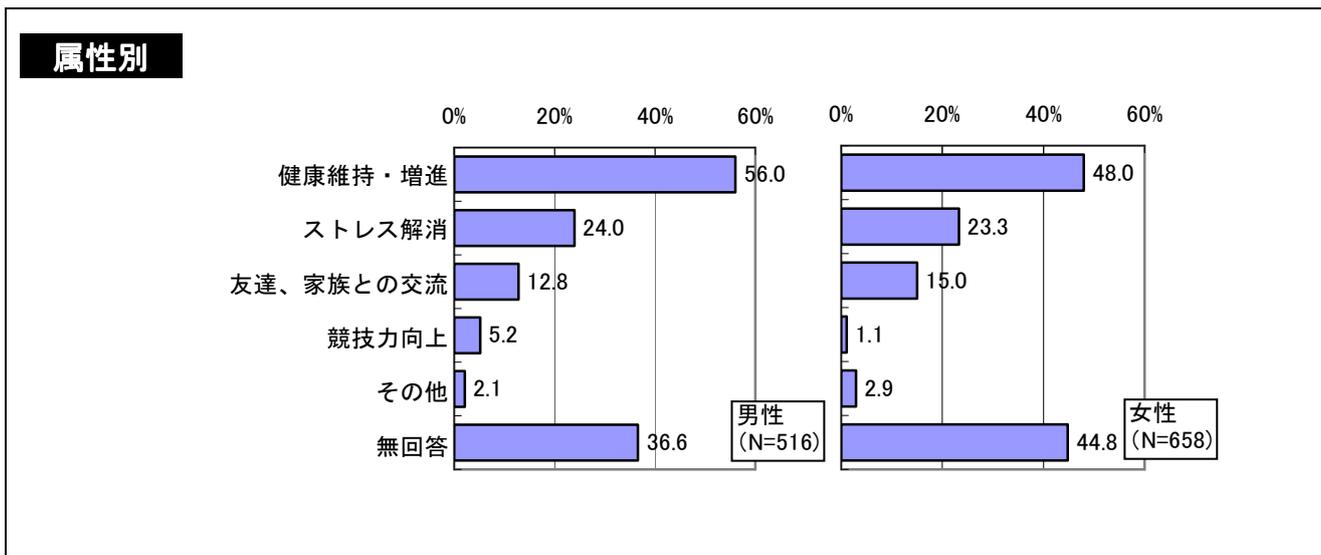


地区別で見ると、旧市内地区で「スポーツジム」(23.3%)が「総合運動場」(21.1%)を上回り、やや多くなっている。中郷地区では「子供用スポーツ施設」(22.1%)が5人に1人の割合になっている。

問 17 あなたが運動を行なう理由はなんですか。

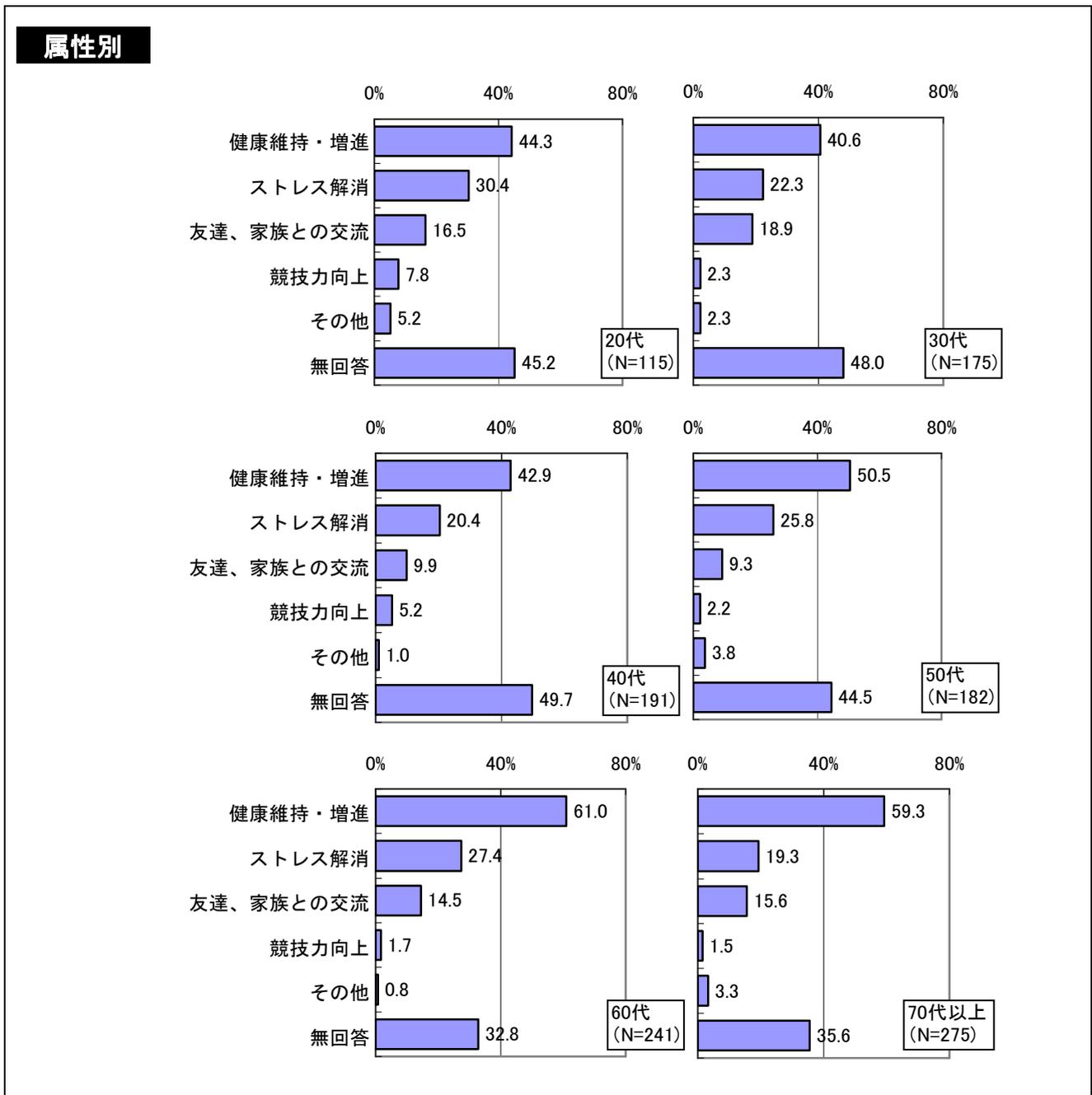


運動を行なう理由について聞いたところ、「健康維持・増進」(51.4%)が最も多く、次いで「ストレス解消」(23.6%)となっている。最も少なかったのは「競技力向上」(3.0%)で1割に満たない。

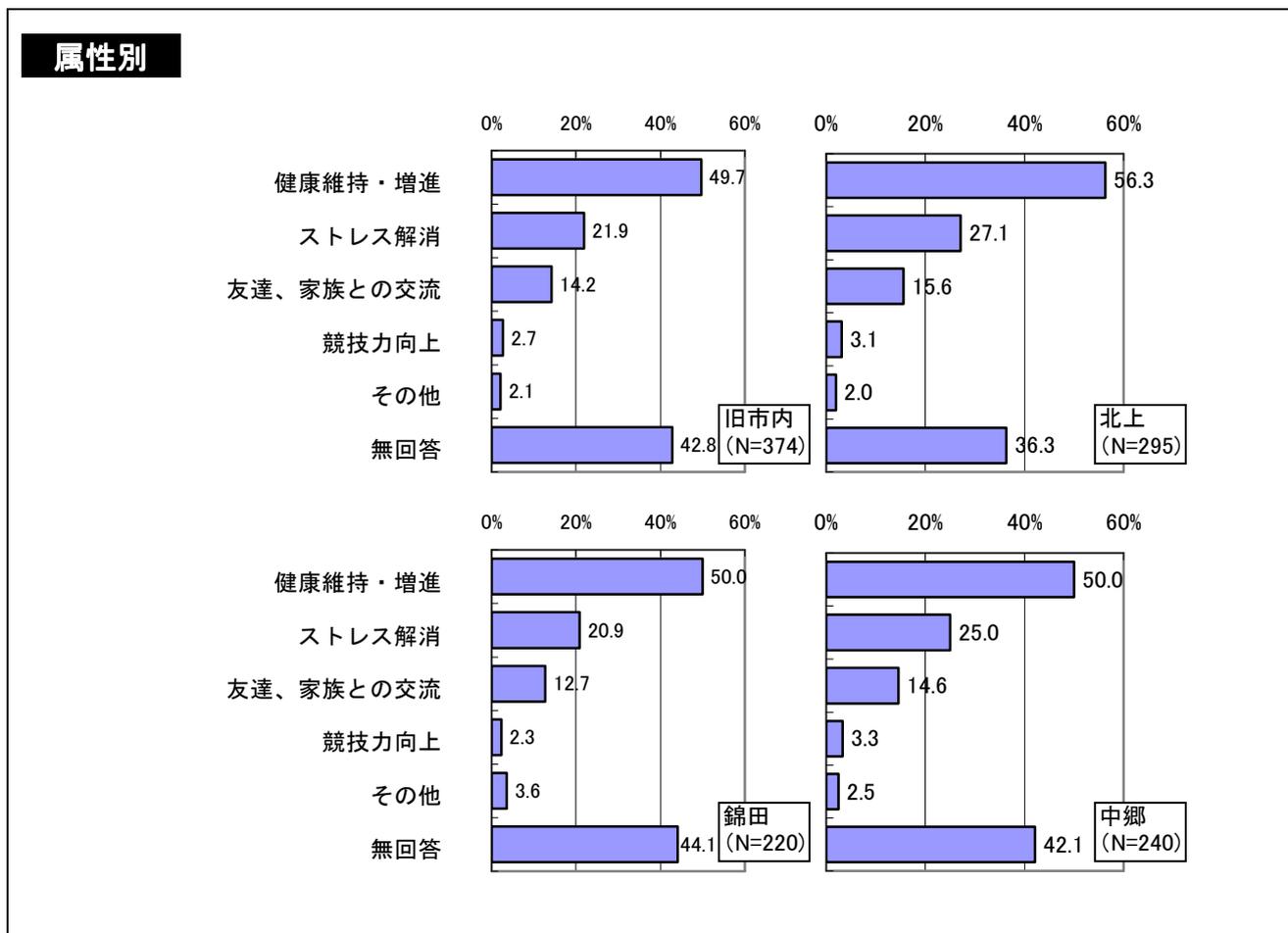


性別で見ると、男性で「健康維持・増進」(56.0%)が半数を超えている。女性において、「競技力向上」(1.1%)は僅かとなっている。

II 調査結果



年代別で見ると、50代以上で「健康維持・増進」が半数を超え、特に60代以上では6割前後と高い割合となっている。20代では「ストレス解消」(30.4%)がやや多くなっている。



地区別で見ると、北上地区で「健康維持・増進」(56.3%)が6割近くとなっている。また、北上地区、中郷地区では「ストレス解消」も約4人に1人とやや多くなっている

